

三井物産「内地支店長会議々事録」(明治三三年)第一回分

吉川 容

ここに掲載するのは、三井物産「内地支店長会議々事録」

(明治三三年)の翻刻である。本史料は一九〇〇(明治三三年)一月一八日から二五日にかけて内地支店長を招集して開催された三井物産合名会社の「商務諮問会」の議事録であり、原本は公益財団法人東洋文庫に所蔵されている。

本議事録は現在までに所在が確認されている同種史料(三井物産の支店長諮問会議事録類)としては最も古いものであり利用価値の高いものである一方、蒔莢版(手書き文字)で読みやすくはなく劣化の懸念もある史料なので、東洋文庫の許可を得て翻刻をおこない本誌上に掲載することにした。

本議事録は会議開催日別に第一回から第八回に区分されている。今回翻刻したのはそのうち第一回(第一日目)分である。次号以降で第二回以降の議事録を掲載する予定である。

本史料の翻刻を許可くださり諸々ご高配を賜った公益財団法人東洋文庫に感謝申し上げます。また、本史料の所在を翻刻者にご教示くださり翻刻にあたってご助言をいただいた鈴木邦夫氏にも記して御礼申し上げます。

凡例

一、原則として漢字は通用の字体を用いたが、固有名詞や慣用句などで原本通りとした場合もある。

一、合字はカタカナに改めた。

一、判読不能の文字は□で示した。

一、「」内は翻刻者による注記である。

一、原本では発言者名を一字ないし二字分上げて記載しているが、翻刻では冒頭に「◎」を付加したうえで発言者名をゴチで表記した。

一、表については誌面の都合により原本での当該箇所に近い位置に配置し本文中に原本での位置を注記した場合がある。表の番号は翻刻に際して付したものである。表4と表5は原本では本文中の縦書き罫線無しの表であるが、収録の都合上独立した横書きの表として作成した。

一、原本の丁の区切りを【】内に示した。原本での丁数是用紙右下（原本は袋綴製本されているのでその状態では左頁のど側下）に漢数字もしくは算用数字で記されており、その数字は会議各回毎（回によってはさらに午前・午後と思われる区分毎）に更新されている。参照の便を考え【】内には回数（午前・午後の区分がある場合は「一」「二」で区分）と丁数（算用数字）を記しさらに用紙前半（袋綴じでは左頁となる）の場合は「a」後半（袋綴じでは次の右頁）の場合には「b」を付した。なお、第一回午前の分には一九頁が二枚あるので「c」「d」も用いている。

〔翻刻原本 公益財団法人東洋文庫所蔵 二「三井物産」内地支店長会議議事録〕請求記号六四二)

秘

内地支店長会議々事録

明治三十三年一月内地各支店長ヲ東京ニ召集シ商務諮問会ヲ開会セラル出席者ハ内地各支店長并參事、調査課長、漁業部長心得、桑港出張員等ニシテ若松出張所長ハ店務多繁ノ為出京セサリキ今其議事ノ要領ヲ撮録シテ各位ニ報告ス

第一回 一月十八日

◎益田専務理事 敵冬ノ候諸君ノ御出京ヲ煩ハシ寔に御苦勞千万ナリ、実ハ丁度商売ノ方モ間合ヒデアリ且本支店間ノ連絡モ付キ又支店相互間ノ打合モ出来大ニ便益ヲ得ルナラント考ヘ本会ヲ催フスコト、ナシタル訳ニテ畢竟一ノ打合会ナリ何レ追々諮問モシ又諸君ノ御意見ヲモ伺フコ

【一回ノ一 1b】

ト、為スヘキカ何事モ例ノ通り手易ニ胸襟ヲ披テ十分評議ヲ遂ケ向後營業上此会ノアリシコトカ大ニ助ケトナル様致シタシ諮問案ヲ茲ニ三四件出テ居ルモ畜ニ之ノミニ止ラズ追々御協議スルコトモ之アルベク又各地ニ於テ實際商売ノ

【一回ノ一 1a】

衝ニ当ラル、諸君ノ意見モ亦最モ承知致シ度所ナリ尚乍序一言スルカ旧臘末日ニ社長殿ニ代リテ挨拶旁述ベタルコトハ其要領ヲ筆写セシメテ差回シタル故諸君モ既ニ一覽セラレタルナカランカ段々諸君ノ御骨折ニ依リ当会社ノ業務ハ駸々乎トシテ進ミ大分価値アル營業トナリタリ尚今后營業ノ擴張進歩ハ素ヨリ期シテ待ツヘキモ右演説ノ節口ニテハ詳シク述ヘタルモ筆記ニハ唯其概要ヲ記シタルノミニテ未タ十分意志ノ貫徹セサル所モアリタルカ要スルニ營業ノ擴張二伴

【一回ノ一 2a】

ヒ諸般ノ設備行届カス忽慢其間ニ萌シ為メニ營業ノ進歩ヲ妨ケ或ハ得意ノ氣受ヲ損シ或ハ得意ヲ失ヒ或ハ又不測ノ損失ヲ蒙ル等ノコトナシトセス恰モ小供力玩弄物ノ木片ヲ積み上ケルニ際シ最後ノ一ツヲ積マサレハ過チナカリシ其二一ツヲ積ミ重子タル為メ全部頽ル、ト同シク設備未タ十分整ハサルニ余リ手ヲ広ケ過キルトキハ根帯ヨリシテ崩壊スルコトナキヲ保セス從テ進取ハ勿論必要ナルモ之ヲ為スニハ大ニ慎重ノ注意ヲ加フル処ナカルヘカラズ故ニ此度ハ別シテ此設備ノ事ニ付テモ御評議ヲ致シ度夫ニ付テハ会社ノ資本金ノ事等ニ関シ諸君ノ御承知ナキ事モ大体丈話シ置クコトニ致スベシ又輸出貿易ヲ盛ニスルノ案カ出テ居ルカ輪

表1 〔当社商売高〕

	三十二年	三十一年	三十年
会社、外国品ヲ内国ニテ売渡高	40,015,608	38,787,868	33,539,913
〃 内国品ヲ外国ニテ売渡高	25,439,050	13,404,034	10,431,690
〃 内国品ヲ内国ニテ同上	10,043,380	9,609,848	9,303,515
〃 外国品ヲ外国ニテ同上	731,924	761,178	178,672
計	76,229,962	62,562,928	53,453,790
外国貿易高（出入全計）	436,735,224	433,226,220	382,435,849

〔原注〕三十二、三十一ノ兩年ハ会社ノ決算年度ニ改メ三十年ハ貿易年表ノ合計ニ依ル

輸出比較	三十二年	三十一年	三十年
会社	25,439,050	13,404,034	10,431,690
貿易高	216,061,843	162,588,328	163,135,077

輸入比較	三十二年	三十一年	三十年
会社	40,015,608	38,787,868	33,539,913
貿易高	220,673,381	270,637,892	219,300,772

出貿易ヲ盛ニスルト云ヘハ輸入貿易ハ等閑ニ付スルモ可ナルカ

〔二回ノ一 2b〕

如キ聞ヘアルモ決シテ然ラズ輸入貿易ハ勿論盛ニスヘキカ  
 兎角是迄輸出貿易ノ方ハ等閑ニ流レ易カリシ故之モ輸入貿易  
 同様大ニ盛ニ致シ度トノ考ヨリ茲ニ提案シタル訳ナリ而  
 シテ議事ハ例ノ通り書キ取リテ之ヲ各店ヘ配布スルニ付海  
 外店杯ニ於テモ大ニ便利ヲ得ルコトナルヘク就テハ諸君ニ  
 在リテモ一人ツ、意見ヲ吐露セラル、様致度暫時小生會長  
 ノ役ヲ務ムヘシ先ツ会社ノ營業ノ模様ヲ一通リ述フルコ  
 ト、センニ只今參事ニ於テ各店ノ考課狀ヲ一纏メトシテ会  
 社全体ノ考課狀ヲ作りツ、アル故之カ出来上レハ昨年度ノ  
 景況ハ一目瞭然トナルモ未タ其運ニ至ラズ併シ大体ノコト  
 ハ諸君ニ報告シ得ベシト考フ

◎長谷川參事 当社ノ商売高ハ左表ノ如シ

〔一〕に表一〕

【二回ノ一 3】

尚ホ当社取扱ニ係ル輸出并輸入品ト我邦ノ輸出并輸入品ト  
 ノ比較ヲ挙クレハ左ノ如シ

表2 輸出比較表

	三十二年		三十一年	
	会社	貿易高	会社	貿易高
	円	円	円	円
生糸	4,719,995	66,103,481	2,541,712	42,161,666
熨斗及屑糸		3,832,690		2,556,800
羽二重		15,508,226		11,897,879
甲斐絹		1,383,060		551,804
絹製手巾		3,441,144		3,595,626
綿織糸	8,498,203	26,565,865	4,419,627	19,697,442
綿布	293,032	3,916,094	139,980	2,453,810
地氈		726,234		878,671
燐寸	354,576	5,708,802	218,771	6,268,146
地席		3,591,904		4,001,277
磁陶器		2,107,092		1,775,791
漆器		918,380		780,412
麦稈真田		2,729,276		2,482,797
洋傘		944,767		681,079
製茶		8,441,439		8,200,349
米	4,426,189	11,744,539	441,840	4,095,098
錫		1,437,657		1,255,355
昆布		923,806		727,810
魚油		524,300		442,701
椎茸		691,574		640,038
樟腦	146,790	1,738,652	27,580	1,161,581
銅	207,765	11,131,369	296,486	6,840,597
石炭	5,465,316	11,909,474	4,529,856	11,862,620
木蠟		664,587		561,925
銀塊	929,991		605,670	18,043,380
紙	163,750		58,375	
木炭	23,579	85,405	31,024	98,718
硫酸	28,771	66,900	…	64,071
硫黄	16,298	599,196	11,323	477,065

(備考) 会社輸出高ハ實際外国ニテ販売シタル高也  
貿易高ハ会社決算ト同一ニセンガ為メ改算シタレハ貿易年表ノ  
合計ト相違スヘシ

[…の欄は数字があるが判読不能。]

表3 輸入貿易比較

	三十二年		三十一年	
	貿易高	会社扱高	貿易高	会社扱高
	円	円	円	円
棉花	55,913,872	23,983,683	46,174,469	13,237,362
綿糸	5,709,356	203,947	8,256,798	250,013
金巾及更紗	5,813,230	279,763	7,159,392	1,0047,710 (ママ)
綿繻子及綿天鵝絨	1,306,872		2,405,817	
羊毛	4,260,695	983,440	1,518,694	422,636
縮緬呉呂	4,313,049		4,282,255	
イタリヤン、クローツ	1,095,305		1,194,865	
フランネル	474,973		1,285,418	
羅紗	2,037,626	47,601	2,752,460	168,682
時計	467,271		2,878,190	
機械類	5,211,714	2,438,814	8,960,723	3,420,902
鉄道用品	3,097,688	2,385,301	5,254,649	5,312,607
条鉄及竿鉄	2,434,598		4,296,655	
軌条	472,670		2,748,857	
鉄釘	2,384,151		1,007,217	
鉄及鋼	5,511,126	372,461	4,929,344	141,542
砂糖	19,882,580	2,702,268	24,802,222	829,671
米	4,028,911	23,041	52,012,332	8,126,504
豆類	8,447,973	533,269	6,915,822	145,292
石油	7,876,829	587,975	7,333,481	834,688
油漕 (槽カ)	6,452,679		4,639,613	
酒精	2,786,697		2,699,982	
葉煙草	5,086,354		5,086,354	
紙巻煙草	1,443,783		1,720,827	
麦粉	1,482,416		2,022,412	
籃 (藍カ)	3,078,525		2,270,814	
アニリン染料	913,249		1,218,842	
阿片		…		…
大豆粕		…		…
紙		…	…	…
鉛		…	…	…
錫		…	…	…
セメント		…	…	…
カストル油		…	…	…
牛骨		…	…	…

【二回ノ一】  
【5】

(備考) 貿易高総テ会社ノ決算ト同シク改算シタリ

[…の欄は数字があるが判読不能。]

【一回ノ一 6a】

◎福井營業部長 右ハ昨年受渡ノ結了シタルモノニテ取りモ直サス一昨年来最モ景氣ノ悪キ時ニ約定シタルモノニ係ル從テ其高多カラズ尚ホ別ニ昨年中ノ約定高ヲ取調べ貰ヒタシ

◎長谷川 目下調査中ナリ

◎益田 借諮問ノ順序ハ何レヨリ始ムヘキヤ

◎飯田 各店全般ニ涉ルコトヨリ願ヒタシ蓋シ我社ノ商売ハ各店区々ナル故飯ニ輸出米ノコトニスレハ我々ニ於テ余リ關係ナク又諮問セラル、モ別段意見ヲ吐露スヘキ様ナク他ノ意見ヲ聞クモ差程効能ナシ故ニ部分ノコトハ後ト回シトシ先ツ全体ノ事ヨリ議スルコト、致シタシ

◎福井 各店業務ノ大体ヲ先ツ以テ述フルコト、シテハ如何大ニ参考トナルベシト考フ

【一回ノ一 6b】

◎益田 従前モ前年度ニ於ケル業務ノ大体ヲ報告スル例ナリシ是ハ中々有益ナリ

◎福井 専務理事ノ御説ノ如ク第一ニ報告ヨリ承リタシ勿論部分ノ打合ハ飯田君ノ説ノ如ク關係店ノ間ニ於テスルコト、為シテ可ナリ

◎飯田 余ハ商売々々ニ付テ店々ノ景況ヲ聞ク方大ニ感シカ

深シト考フ勿論大体論ヲ承ルコトモ利益ニハ相違ナキ短キ時間ノ間ニ評議ヲ為スニ付テハ大体論ヲ先ニシ更ニ商売々々ニ付部分論ヲ為ストスレハ事重複ニ亘リ無益ノ時間ヲ空費スルコトナキニ非ス故ニ直ニ諮問案ニ移ルコトニ致シタシ

◎福井 大体論ヲ為ス内ニ向後云々ノ商売ヲ大ニ進ムル必要アリト申ス如キ御考力議長ノ脳裏ニ浮フコトアルヘク自然一同ノ談ヲ

【一回ノ一 7a】

承ル内ニハ向後商売ニ関スル大方針モ生出スルコトモアラム故ニ大体論ヲ聞ク方可ナリ

◎益田 諸君ハ此会ノ為メニ出席サレタル事故諸君カ担当セラレ居ル仕事ニ付一通リ其景況ヲ述ヘラル、ハ諸君ノ義務ニシテ又我々之ヲ聞クハ大ニ利益ニ感スル所ナリ故ニ先ツ大体丈ヲ述ヘ石炭トカ棉花トカ輸出米トカニ関スルコトハ又其商売ニ付相談スル際詳論スルコト、為スベシ先ツ東京營業部ヨリ述ヘラレタシ

◎福井 極メテ単簡ニ述ヘン昨年ハ商売ノ成績最モ面白カラサルベシト考ヘタル故大ニ用心ヲ為シ又勉ムヘキ所ハ十分勉メ少シモ手ヲ遊ハセサル様ニ働キタルモ奈何セム一昨年ノ不景氣ノ時ニ約定セル僅少ノ商売品ガ昨年上下両半季ニ

入り来リタル勘定ナル故実

【一回ノ一 7 b】

際ノ受渡高ハ余リ好結果ニアラズ

先以テ此二三年間ノ平均高位ナリ然レトモ戦后仆ノ経営モ漸次順調ニ進ミ仆レルモノハ仆レ新ニ起ルモノハ起ルト云フカ如キ傾キトナリタルカ為メ確實ノ注文者ハ段々増加シ又土台ノ薄弱ナル者ハ漸ク減少スルコト、トナリタルハ窃ニ悦フ所ニシテ從テ金融界ガ聊カ平穩ニ歸シタルト共ニ意外ニ大商売ヲ為シ得ルニ至レリ即チ昨年下半年間ニ於ケル營業部ノ商売高ハ一千四百五十万円ニシテ実ニ未曾有ノ出来栄ト謂フ可シ而シテ其内ノ重モノナル品ハ何カト云フニ政府ノ御用品就中鉄道用品カ主タルモノナルモ而モ這般政府ノ御用品ハ商売高ノ半ハヲ占ムルニアラズ約三分ノ一強而已其他ハ所謂商人相手ノ取引ニシテ綿花、羊毛、砂糖、金物等其宰タルモノナリ而シテ商人相

【一回ノ一 8 a】

手ノ商売中最モ大ナルモノハ砂糖ナリ此商売ハ一昨年未始メテ營業部ニ於テ経営シ初メタルモノナルモ幸ニ得意先良好ナルト買付方好都合ニ運ヒタルト又運搬金融保険等便アリタルトニ依リ大ニ發達シ營業部取扱品中金高第一位ニ上

レリ尤モ鉄道用品ハ種々ノ品物ヲ併合スレハ金高最多額ニ上ルモノ一種ノ品物ニテ金高最モ鉅鉅額ニ上リ居ルハ砂糖ニ指ヲ屈セサルヘカラズ次ニ又昨年下半年ノ初メヨリ毛類掛新設セラレ毛類ノ取扱ニ専從スルコト、トナリ是亦幸ニモ好都合ニ運ヒ取扱高モ多ク利益モ亦大ナリシ亦綿布特ニ日本品ヲ外國ニ輸出販売スルコトハ大ニ力ヲ用ヒサルベカラストノ社長殿ノ御命令モアリ旁棉布掛ヲ新設スルコト、ナリ且綿布ヲ共通計算ニ屬セシムル為メ綿布首部ヲ設置セラレ營業部其事務ヲ

【一回ノ一 8 b】

司ルコトトナリタリ之ハ未タ始メタル計リ故十分ノ結果ヲ述フル迄ニハ進歩セサルモ今日迄ノ傾キヨリスレハ誠ニ行末見込アル様考ヘラルル現ニ台湾向キノ品物ハ予想ノ通り好結果ヲ得此他支那并朝鮮ニ対シテ大ニ力ヲ伸ハシ得ヘキ望アリ太甚有望ナリ斯ノ如ク種々ノ掛モ出来商売モ成立チ其取扱高モ未曾有ノ鉅額ニ上リタルモ退テ之ヲ輸出ト輸入ト二分ツトキハ殆ント全体カ輸入ノミト云フモ可ナル位ニテ輸出ハ甚ダ微々タルモノナリ即チ輸出ハ僅ニ百万円内外ニシテ此外ニ内地品ノ内国売百万円内外アリ其他ハ凡テ輸入商売ニ屬ス元來物ヲ売ルコトハ難ク買フコトハ易シ故ニ營業部力何カ為メ売ルコトニ上手ニシテ買フコトニ下手ナル

カト云フコトヲ百万調査シタルニ別ニ我々ガ怠リテ買方ニ廻ラサル訳ニハ非ス

【二回ノ一 9 a】

畢竟買フヘキ物ナキナリ乍去只今ノ遣リ方ニテハ買フヘキ物ナキモ其方法手段ヲ改ムルトキハ必スシモ買フヘキ物ナキ謂レアラサルヲ以テ向後ハ大ニ營業部ノ輸出入商売ノ不平均ヲ匡正スルノ考案中ナリ幸此度諮問案中輸出商売ノ増進ヲ斗ルノ議テフ題目アルヲ以テ大ニ力強ク感セリ畢竟余輩ノ企望スル買物ヲ増加スルコトハ決シテ營業部一己ノ力能ク之ヲ為シ遂ケ得ヘキ所ニ非ス即チ大ニ其手段方法ヲ研究スルノ要アリテ此点ニ付テハ特ニ社長殿ヨリ御指図ヲ仰カサルヘカラス加之我々担当者ニ於テ専ラ買方ニ勉ムルハ勿論之カ売捌ノ衝ニ当ル海外支店ニ於テモ一層力ヲ其売方ニ濶キ恰モ我々ガ内地ニ於テ外国品ノ売捌ニ勗ムルカ如ク海外ニ於テモ亦日本品ノ売捌ニ努メ以テ日本ニ於ケル輸出入商売ヲ平

【二回ノ一 9 b】

均セシムルト共ニ海外ニ於ケル輸出入商売ヲ平均セシムルヲ得バ其愉快実ニ言語ニ尽スヘカラサルモノアリト考フ尚細カキコトハ御問合アレハ答弁スルコト、為スベシ

◎益田 次ニ大阪ノ景況ヲ述ヘラレタシ

◎飯田 大阪ハ前年經濟界ノ恐慌ノ為メ大ニ打撃ヲ蒙リタルカ一昨年ノ豊作ヨリ大ニ景氣ヲ回復スルナラント思惟シタルニ恐慌ノユリ方太甚シク更ニ豊作ノ影響ヲ蒙ラス從テ新規ニ起スヘキ商売ハ更ニ見当ラズ僅ニ器械ノ修繕補足鐵道線路ノ延長位ニ止レリ從テ又商売高モ十分増加ヲ計ルコト能ハサリシ今少シク各商売ニ付キ略叙スル所アランニ大阪支店取扱商品中最モ主要ナルモノハ綿花綿糸ナルモ之ハ別ニ部長アリテ其取扱ニ任スル故之ヲ省キ他ノ一般ノ商売即チ器械

【二回ノ一 10 a】

石炭雜貨等ノ事ヲ述フベシ  
器械ノ方ハ前ニモ述ヘタル如ク一体ニ世界ノ景氣回復セス商売至テ小ニシテ単ニ修繕品、取替品採ノ供給ニ止マリ更ニ大口ノ注文ナシ乍併時々紡績会社ニ於テ或モ式台ノ器械ヲ増シ若クハ鐵道会社ニ於テ三五哩ノ延長又ハ車両ノ不足ヲ補充スルモノ採之ナキニアラサリキ  
石炭ハ不相變工場相手ノ商売ナル処從來最モ競争ノ劇甚ナル大和船方買積ヲ為シテ持來ル為メ当社ノ商売ヲ妨ケケル、コト尠ナカラズ從テ弗々其取扱ヲ為スノミニテ未タ十分ノ發達ヲ見ルニ至ラズ向後漸次此商売ヲ擴張シ大和船ト

競争ヲ試ミント欲ス

雜貨ノ商売ハ大阪ニ於テハ何品ニテモ十分ノ取扱ヲ為スコト

【二回ノ一 10 b】

ヲ得ヘシ重ナル商品ハ東京營業部ト同一ナル故之ヲ述フルハ營業部ノコトヲ復習スルニ同シキヲ以テ之ヲ略シ唯異ナルモノ、ミヲ述ヘンニ東京營業部ニ於テ取扱ハスシテ大阪支店ノミ取扱ヒ居ルモノハ支那生糸ノ輸入并牛莊芝罘ノ榨蚕糸ノ輸入ナリ蓋シ昨年ハ生糸非常ニ高値ナリシ為此商売成立シタルモ到底永遠ノ商売タラシムル見込ナキカ如キモ而モ日本ノ製糸ハ漸次精巧ニ赴キ内地向キノ製糸減少スルノ傾向ナルヲ以テ地遣系トシテ支那生糸ハ益々需要セララル、コト、ナルヘク從テ其輸入ハ一廉ノ商売トナルベシ又榨蚕ハ応用化学ノ進歩ニ伴ヒ護謄質ヲ抜キテ之ヲ漂白シ普通ノ生糸ノ如ク染色スルノ方法京都等ニテ發明セラレタルヲ以テ向後引續キ其輸入ヲ見ルニ至ルベシ次ニ又輸出ニ於テ熾寸アリ本品ハ取扱太甚困

難ナリ其故ハ他ナラン売先ハ重ニ支那ナルニ今日迄支那人カ主トシテ之ヲ取扱ヒ且ツ其取扱振ハ工場ニ前金ヲ貸渡シ

【二回ノ一 11 a】

テ品物ヲ安く買取り自分ノ商標ヲ貼付シ加之其商標ハ多年十分ニ売拡メタルモノナレハ新ニ此商売ヲ始メタル物産會社ハ競争太甚困難ニシテ啻ニ損失ナクシテ此商売ノ擴張ヲ計リ得レハ重疊ナルモ如何ニスルモ多少損失ヲ為サ、レハ新規ノ商標ヲ売り広ムルコト能ハズ要スルニ一兩年ハ損失ヲ厭ハスシテ商標ノ売広メニ勉メサルベカラズ最モ近頃上海ノ如キ殆ント度外ニ措キタル所ニテ大ニ売レ行キ始メタリハ大阪ノ働キト云フヨリモ全く上海ニ於テ売先ヲ見出シタルニ依ルモノニテ凡テ輸出商売ニ付テハ海外店ノ働キ完カラサレハ内地ニ於テ如何トモ為シ能ハサルコト多シ熾寸商売ニ於テ殊ニ然リト為ス次ニインデゴモ

【二回ノ一 11 b】

營業部ニナキ商売ナリ之ハ他日大商売トナルヘキ見込ナリ蓋シ藍ヲ造ルニハ肥料ヲ要スルコト多ク且ツ米ヲ作ルヨリモ危険多キ作物ナルカ故ニ日本藍ノ耕作ハ綿ノ耕作ト同シク漸次減滅シ其結果印度藍ノ需用ヲ増加スルニ至ルベシ故ニ本商売ニハ各店共力ヲ尽スコトニ致シタシ先ツ大抵以上ノ如キ品物ナリ

◎益田 綿花綿糸ノコトモ大体ヲ述ヘラレタシ

◎飯田 然ラハ一通リ述フベシ綿花ハ御承知ノ通り昨年ハ印皮度綿非常ノ不作ニシテ印度内地ノ需用ニモ足ラサル有様ニ

テ又米綿毛作柄宜シカラス今日ノ処ニテ八九百万俵ノ収獲ハ得ラレ間敷景況ナリ且ツ支那綿毛不作ニシテ世界ノ棉作ハ概シテ凶作ナリシカ為メ價格次第ニ高騰シ近來ニナキ高値ヲ現出セリ即チ

【一回ノ一 12a】

印度綿安値十五円三十銭乃至五十銭ヨリ二十五円台ニ昂騰シ米綿モ亦十九円台ヨリ二十六円台ニ上リタリ如此年柄ナリシカ為メ綿花綿糸ノ取扱ハ素人ニテモ為シ得ヘク從テ昨年來大阪ニ於テ綿商否ナ寧ロ綿ノブローカートモ云フヘキ者増加シ各商店ノ手代カ何レモ独立シテブローカートナリ其數十四五名ニ上レリ此外ブローカーヨリ稍資力アル綿商人モ四五軒新規開業セリ此等ノ者ノ商売ノ仕方ハ早朝外国商館又ハ物産会社等へ來リ見本ヲ貰ヒ値段ヲ聞キ紡績ヲ回リテ注文ヲ取り昼又ハ夕刻再ヒ戻リ來リテ注文ヲ為スカ如キ有様ナリ然ルニ昨年ノ如キ相場騰貴ノ一方ナル年柄ニ在リテ此等ノ者カ幾分カ自己ノ勘定ニテ綿ヲ買入レ置キ相当ノ利益ヲ占メ又我々問屋ニ在リテモ亦此等ノ者ヲ利用スルカ為メ大高ノ

【一回ノ一 12b】

取引ヲ為ス割合ニハ売子ヲ要スルコト少ク小人数ニテ商務

ヲ經營シ得タリシナリ

綿糸モ亦之ト同様取扱者非常ニ増加セリ

皆全体ノ商売ノ仕方如何ト云フニ大阪綿花部ノ希望ハ日本ニ輸入スル綿花ノ三分ノ二ハ我社ノ取扱ニ屬セシメ度考ヲ以テ之ニ當リ出來得ル丈口錢ヲ薄クシテ取扱高ノ増加ニ勉メ其結果商売高ハ非常ニ巨額ニ上リタルモ利益ハ其割合ニ多カラサリシ一言以蔽之商売高ヲ増加シ競争者ヲ窘蹙スルノ態度ヲ採リタリ次ニ綿糸ノ方ハ自カラ利益ヲ占ムルト云ハンヨリ寧ロ紡績会社ヲ助成スルノ主義ヲ採リタリ乍去昨年ノ如キ年柄ニ在リテハ助ケル考ニテ買ヒタルモノモ利益トナルトイウ云フカ如キ景況ニテ却テ未曾有ノ利益ヲ得タリ

【一回ノ一 13a】

併シ向後ハ如何ニ成行クヘキカト云フニ昨年綿花綿糸ノ取扱ヲ為シタル商人カ何レモ利益ヲ得タルヲ見同業者益増加シ同業者ノ増加ハ競争ノ激甚トナリ商売益困難ノ傾キヲ呈スヘキモ而モ我社ニ於テハ依然今日迄ノ主義ヲ襲踏シテ競争者ヲ困メ益商売高ノ増加ヲ計ル方針ナリ希クハ各関係店ニ於テモ其ノ趣旨ヲ以テ尽力セラレンコトヲ而シテ昨年ハ本支部ノ間別段争モ起ラズ能ク円滑ニ進行セリ是レ蓋シ前年末御協議ノ結果共通計算規程ニ準拠スルコト、ナリ如此

円満ナル進行ヲ見ルニ至リタルコトナルカ尙今年モ同様ノ取扱振ニテ十分本部ノ趣意ヲ助長セシメラレンコトヲ望ム

◎益田 是レヨリ兵庫支店ノ談ヲ承リタシ營口輸入品ニ関スル

【一回ノ一 13 b】

商売并輸出米ニ関スル商売ノ事モ同時ニ述ヘラレタシ

◎遠藤 先ツ輸出米ノコトヨリ述フベシ昨年ハ一昨年ノ豊作尻ヲ受ケ持越米多ク其高約七百万石ナリシ故ニ先ツ平作ナレハ無論米価ハ八九円擲ナルヘシト考ヘタリ外國商館モ此氣込ミニテサミユルノ如キ約定ヲ始メタリ当社モ外國米ノ持越シアリ先ツ一屯四円三十九錢位ナレハ確カナリト考ヘ總体ニテ一万二百屯売約セリ而シテ稲作ノ模様ヲ見又第一回ニ各地取引先ヘ問合せタル結果米ノ收穫高ヲ三千九百万石ト計上セリ然ルニ其後土用ニ入りテ天候適順ナラズ八月末并二九月上旬ニハ暴風雨アリ四国地方并山陽地方大ニ被害ヲ蒙リタリ此時ニ際シ当社ハ一方倫敦ニ於テ既ニ売約セタルモノアルヲ以テ之ト見合ヒヲ付クル為メ大阪支店ニ交渉シ大阪松谷ノ持米六万三千石ヲ十円替ニテ

【一回ノ一 14 a】

買取リタリ其後作柄益々悪シク各地ニ照会シテ取調べタル

所ニ依レハ三千三百八十二万石トナリタリ依テ倫敦ヘ交渉シテ売約定済ノモノヲ解約シ又運賃ノ約定アリタル分モ解約ヲ計リ本邦ニテ郵船会社ト約定セルモノ并倫敦ニ於テ約定セルモノ共総テ無条件ニテ解約スルコトヲ得タリ而シテ右輸出米売約定済ノモノヲ解約セル高ハ五千屯余ニシテ此解約ノ為メ六万円余ノ損害金ヲ弁償シタルモ幸ニシテ古米ヲ買持シタルカ為メ此損失ヲ補填シ尚ホ若干ノ利益ヲ占メ得ヘキ計算トナリタリ又新米ノ買付ニ付テハ昨年ハ概シテ不作ナリシモ九州并防長地方ハ可也ノ作柄ニシテ輸出適當米ヲ得ルニハ此地方ヲ外ニシテ他ニ之ヲ求ムヘカラサルヲ以テ水谷氏ニ相談ノ上九州并防長地方ニ於テ買米ヲ

【一回ノ一 14 b】

為シ之ヲ兵庫ニ回漕シ居リテハ運賃ノ損失尠ナカラサルニ依リ凡テ輸出ノ事ハ馬関ニテ引受け貰ヒ五千百屯丈輸出ヲ為シタリ

右ノ如ク我社ニ於テハ米価ノ騰貴ヲ見テ取り速ニ善後策ヲ運シメルモ外商間ニ在リテハ大ニ其機ヲ誤リタルモノアリ蓋シ外商ハ日本米尙ホ下落スヘシト考ヘ居リタルニ相場ハ益々騰貴シタルヨリ大ニ其目的ノ齟齬ヲ来シタル次第ニテシモンエバノ如キ輸出会社ヨリ千五百屯ヲ買約シタル分ハ三万円ノ弁金ヲ取りテ破談トシタルモ一方海外ノ買先ニ於

テハ解約ヲ肯ンセサル為メ大ニ閉口シ已ムヲ得ス高キ米ヲ買取りテ積出シヲ為シ又サミユールノ如キモ外国テ売リテ神戸ノ田中ヨリ二千屯ヲ買約シタルニ米価騰貴ノ結果一石四円余ノ開キヲ生シ田中ハ其約束ヲ履行セス且ツ

【一回ノ一 15 a】

同人ノ資産ハ七八千円ニ止ルヲ以テ全部之ヲ引上クルモ到底サミユール社ノ損失ヲ償フニ足ラスサミユール社ハ為ニ大ナル損失ヲ蒙リタリ即チ三円八十錢位ニ売リタルモノヲ五円五六十錢位ニテ買取り積出ヲ為シタル有様ナリ尤モ大部分ノ解約ヲ為シタリト云フ我社ハ之ニ反シテ古米ヲ買取りタル為メ新米ニテハ弍円位ノ損失アルモ古米ニテ三円位ノ利益アリ従テ差引利益ノ勘定トナリタリ要スルニ当初見込ヲ誤リタルモ中頃其目論見ヲ改メタル為メ損失ヲ免レタルナリ、輸出来ノ商売ニ付テハ産地買付ハ太甚困難ノ事ナルモ而モ田中ノ如キモノヲ相手トシテ約定スレハ一石二付キ二円ノ差カ出来レハ必ス破約シテ品物ヲ渡ス氣遣ヒ無之故如此危険ヲ踏ムヨリモ寧ロ自ラ産地ニ於テ買付ヲ為スノ勞ヲ取ル方可ナリ

【一回ノ一 15 b】

昨年度輸出来高ハ計五千百屯ニシテ之ヲ一昨年度ノ二万四

千屯余ニ比スレハ実ニ壹万九千屯余ノ減少ナリ是レ畢竟米価騰貴シ適當米手ニ入ラサリシ為メナリ

次ニ牛莊大豆、大豆粕等ノ商売ハ一ヶ年計算ニシテ昨年ノ取扱高ハ二十六万六千担ニシテ一昨年ハ十二万二千担余即チ倍数以上ニ上レリ何故ニ斯ク取扱高増加ヲ来シタルカト云フニ從來ハ支那人ノ競争アリ彼等ハ常ニ我社ヨリ一担ニ付二錢乃至二錢五厘安値ニ取扱ヒタル為メ我社ノ商売ハ彼等ニ庄倒セラレタルナリ然ラハ何故ニ彼等ハ安値ニ売捌キ得ルカト云フニ支那人ハ地元ニ店ヲ開キ船モ自ラ所有シ經費ノ節減ヲ計リテ此商売ニ従フモ我社ハ儼然タル支店ヲ開キ之ニ要スル經費多ク一担ニ付七八錢ヲ要スル為メ商売ノ成立ヲ見ルコト

【一回ノ一 16 a】

容易ナラサリシナリ於是乎經費ヲ節減スル為メ支店ヲ出張員トシ其結果一担ニ付二錢五厘方安値トナリ且ツ昨年七月頃迄ハ米価下落ノ一方ナリシモ九月頃ニ至リ米価騰貴ニ連レテ大豆、大豆粕ヲ肥料ニ使用スル者多キヲ致シ九月乃至十二月迄ノ間ニ於テ大高ノ取引出来シ名古屋ノミニテモ十一艘武豊二三艘直航スルカ如キ景況ヲ呈セリ若シ今少シ早く經費ノ節減ヲ実行セシナランニハ今少シク多額ノ取引出来シタルヤモ知ル可カラス此他船舶ノ如キモ亦安運賃ニ

テ約定シ普通三十錢位ノ相場ナルモ我社ニテハ郵船会社ノ  
終航スラ二十六錢ニテ約定シ又為替相場モ最初上海七十七  
兩四分ノ一ニテ二十万兩ヲ約定シ終航ノ當時ニハ七十四兩  
以下トナリタルモ尚各販売店ニ対シテ七十五兩四分ノ一位  
ニ切りタル為大ニ商売

【二回ノ一 16 b】

ノ成立ヲ助ケタリ本年モ亦船ノ雇入方為替ノ取組方産地買  
入方等ニ付特ニ意ヲ致シ五十万担位ノ取扱ヲ為サント欲ス  
蓋シ大豆粕ハ鯨粕ニ比スレハ價格低廉ニシテ鯨粕ヲ仮  
リニ一円トスレハ大豆粕ハ単ニ三十五錢ニ止リ而モ其利キ  
目ハ鯨粕一円ナレハ大豆粕七十錢ノ比例ナルカ故ニ向後  
其販路ハ益擴張スルナラム

芝罘ノ大豆粕ハ是迄大玉ト称シ五十二斤（營口ハ四十六  
斤）ナリシヲ以テ營口ニテ買付ケ得サリシモノヲ芝罘ニテ  
買入ル、カ如キ便利ナカリシモ同地ニ上海支店ノ出張員ヲ  
派出セラレタル以來油房ニ交渉シ五十二斤物ハ販路狭キヲ  
以テ營口同様四十六斤物ヲ造ルノ得策ナルコトヲ勸説シ其  
結果四十六斤物ヲ造ルコト、ナリタルヲ以テ向後營口ニテ  
買付ケ得サレハ芝罘ニ

【二回ノ一 17 a】

テ買付ケ得ルノ利便アリ但本年ハ芝罘兩ハ營口兩ヨリモ割  
合悪シク夫等ノ為値段割高二当リ長崎等ニテ注文アリタル  
ニモ拘ハラズ芝罘ヨリ輸入ヲ見ルコト能ハサリシモ兎毛角  
大豆粕ノ仕入場所一個所ヲ増加シタル次第ナレハ今後取扱  
上大ニ便益ヲ感且船賃モ營口二十錢ノモノナレハ芝罘八十  
五錢ノ見当ナレハ尚更ラ取引上好都合ナルベシ

次ニ牛莊ノカストルオイルハ最初籠ノ俣ニ取りタルモ船ノ  
積卸シニ傷ミヲ生シタルヲ以テ石油ノ明函ヲ送り地元ニテ  
精製ノ上之ヲ積取ルコト、セルモ石油ノ明函ヲ露天ニ置ク  
等ノ為メ銹ヲ生シ罅隙ヲ生シ依テ更ニ籠ニテ取り魚油ヲコ  
ス如ク之ヲコシタルモ其結果大ニ宜シク紡績会社并船舶用  
ニ続々売行キ昨年度中ニ於テ三千二百二十担余売行ヲ見之  
ヲ一昨年ノ売行高千

【二回ノ一 17 b】

二百五十六担ニ比スレハ千九百担余ノ増加ナリ勿論小口ノ  
商売ナルモ我社一手販売ノ姿ナレハ向後一ケ年ニ五千担内  
外ハ売行ヲ見ルニ至ルベシ値段段ハ昨年六月頃十三円八十錢  
ナリシモノ十一月ニ入りテハ十五円位ニ売却セリ大阪支店  
雜貨掛ニ於テモ頻リニ紡績会社等へ売捌方尽力ヲ請ヒツ、  
アリ

米國石油ハ六月頃ノ相場ニ円四十三錢位ナリシカ十一月ニ

入りテ三円七十五銭ノ珍値ヲ現出シタリ此点ニ付テハスタンダードノ遣リ口甚タ其意ヲ得サル所ニテ一円三十銭ノ開キトハ良シ運賃騰貴シタリト云ヘ殆ント其理由ヲ解スルニ苦マサルベカラス先ツ普通ノ相場ヨリスレハ二円五十銭位ニテ相当ナルベシスル有様ナリシ故下半年ノ取扱高ハ六万四千五百六十三函ニシテ之ヲ前々季ノ九万三百七十六函ニ対比スレハ実ニ二万五千函余ヲ減セリ

【二回ノ一 18 a】

然レトモ値段騰貴ノ為メ取扱高少キ割合ニハ利益多カリシ越後油ハ米油ノ高値ニ連レテ上騰シ最高三円二十銭迄ニ上リタリ但之ヲ米油ニ比スレハ四五十銭ノ開キアル為メ其需用多カリシ而シテ値段騰貴ノ為メ聊カ改良ヲ加ヘ鉄葉函ノ如キモ新シキモノヲ用ユルコト、ナリ精撰ノ上ニモ少シク改良ヲ施シタリ而シテ越後全体ノ石油産額ハ四万五千石ナルモ信州伏木敦賀等ノ大部分ヲ輸送スルヲ以テ昨年下半年我社ノ取扱ヒタル高ハ二万五千二百八十四函ノミ  
 麦粉ノ取扱高ハ昨年九月後七千六百五十四袋ナリ元来日本ニ輸入セラル、麦粉ハ七分通り横浜ノ取扱ニ属シ神戸ニテ売却セラル、モノハ少シ而シテ神戸ニテハ湯浅及鈴木二店ニ於テドッドウエル商会ヨリ買約ノ上之ヲ販売シ横浜ニ於テハ増田屋

【二回ノ一 18 b】

最モ此ノ商売ニ努力セリ我社ニテハ若シ日本商人ノ手ヲ經テ販売スルコト、セハ随分大高ノ取扱ヲ為シ得ヘキモ斯クテハ面白味少キヲ以テ直接需用者ニ販売スルノ方針ヲ採リ一車ツ、ニテモ売却スルコト、セルヨリ大ニ得意ノ満足ヲ買ヒ其後統々注文アリ向後一廉ノ商売トナルベシ

従来麦粉ヲ取扱フ商人ハ外国商館ナルト日本人ナルトヨ問ハス普通ノ倉庫ニ倉入スル為メ袋ニシミヲ生シ又ハ鼠喰ヲ生スルコトアリ然ルニ我社ニ於テハ特ニ麦粉倉入ニ適當ナル倉庫ヲ造リ鼠ノ侵入ヲ防クノ備ヲ立テタル為メ大ニ買人ノ賞賛ヲ増セリ殊ニ麦粉ノ取扱ヲ為ス者ハ石油ノ売先ト同一ナル故売込方ニ便利アリ今後大抵ハ我社ノ手ニ得意ヲ集ムルコトヲ得ルナルヘク一ケ年二十四万袋即チ月二万袋位宛ノ取扱ハ為シ

【二回ノ一 19 a】

得ルニ至ルベシ  
 練~~ル~~粕ノ商売ハ季節定リ居リ資金ヲ一時ニ要スルノミナラス倉庫モ亦一年ニ一度入用ナリト云フカ如キ有様ナルヲ以テ最上ノ得意ノ委託荷ニアラサレハ之ヲ引受ケサル方針ヲ執リタル為メ取扱高大二減少セリ即チ昨年下半年ノ扱高ハ

九千二百俵余ニシテ之ヲ一昨年下半年ノ二万四千七百俵余ニ比スレハ約一万五千俵ノ減少ナリ蓋シ昨年下半年ニ於テハ樺太柏ノ取扱ヲ為シタル為メ其高上リタルモ前季ハ其取扱ナキ為メ右ノ如キ結果ヲ呈シタルナリ

又前季ニ在リテハ六月頃北海道ヲ積出スニ際シ米価下落シツ、アリタル為メ荷為替ノ取組ヲ謝絶シ又送荷ヲモ勸誘セサリシ為メ其取扱高ノ減少ヲ見タルモ本商売ハ十數年來

【二回ノ一 19b】

ノ経営ニ係リ既ニ經驗アルノミナラズ得意先ヲ撰フトキハ別ニ危険ノ恐ナク又輸出米終リタル際ニハ人手ニモ余裕アリ倉庫モ亦之ヲ利用シテ倉敷ヲ収メ得ルニ依リ依然其取扱ヲ継続スル方利益ナリト考フ前季ノ相場ハ八月頃ノ三円四十錢ニ比シテ十二月ノ高値ハ四円十五錢トナリ其間七十五錢ノ差アリシ

次ニ輸出米ニ付テハ前季ヨリノ持越ナカリシモ相場下落シタル為メ買付方ヲ差控ヘタリ而シテ十月頃ヨリ弗々輸入始リ同月中神戸ニ入りタル高ハ一万七千四百〇七屯十一月ニハ七千三百八十屯十二月ニハ一万六千四百五十八屯ノ輸入ヲ見タリ然レトモ此輸入ハ相場引合ヒタルカ為メニ非ス支那人等ガ為替ノ出会イヲ付タル等ノ為メ三四千屯宛弗々輸入シタルモノニシテ畢竟我國ノ米作カ七八分作ナルヘキコ

トヲ予想シタルニ依ルモノナレトモ前年外国米ヲ取

【二回ノ一 19c】

扱ヒタル商人ハ何レモ終リニ至リテ多少ノ損失ヲ醸シタル為メ容易ニ外国米ニ手出シヲ為サス且ツ神戸ニ於テペスト病流行シタルヨリ外国米ノ袋ヲ嫌ヒ外国米一向ニ買望ム者之ナク已ムヲ得ス吠又ハ俵ニ入レ替ヘテ他地方ヘ積送ルカ如キ有様ナリ從テ當時神戸ニ於テハ二十二万袋余ノ外国米現荷アリ但黒死病モ薄ラキ日本米ノ値段一層高騰スレハ追々其売行ヲ見ルニ至ルベシ

輸出米神戸積出高ハ十月千九百九十四屯十一月三千八百五十八屯十二月七千八百四十九屯ニシテサミュール、シモンエバ、并当社等何レモ前ニ売約定シタルモノヲ積出シタルモノニ係リ新規ノ約定ハ僅少ノ米國行白米ヲ除クノ外殆ント絶無ナシリ

◎福井 白米ノ輸出ハ何程アリシヤ

【二回ノ一 19d】

◎遠藤 白米ノ輸出ハ十月中二千二百三十九屯十一月中二千三百二十七屯十二月中二千七百三十六屯ナリ  
又輸出米ヲ仕向地ニ依リ區別スレハ如左

表5 「輸出米積出人別」

積出人	10月中	11月中	12月中
	屯	屯	屯
三井物産	—	200.00	1,500.00
サミュール	418.48	496.42	4,289.63
ハンター	1,142.67	1,234.42	792.40
ジャーデン	179.01	714.92	178.57
シモンエバ	13.10	500.00	500.00
ゴームスプラザー	—	—	123.56
ブラウン	100.00	—	—
ルカス	—	30.00	—
ポツプ	—	62.09	—
日本人雑口	141.51	120.60	465.25
合計	1,994.77	3,858.45	7,849.41

〔翻刻注：11月中の合計欄数値が積出人別数値の合計を500上回るがママとした。〕

表4 「輸出米仕向地別」

仕向地	10月中	11月中	12月中
	屯	屯	屯
欧州	113.10	762.65	3,711.68
米国	1,115.72	1,623.59	3,519.59
豪州	728.00	1,304.16	592.11
布哇	37.95	168.05	26.03
合計	1,994.77	3,858.45	7,849.41

〔11月に表4〕

又右ヲ積出人ニ依テ區別スレハ如左

〔11月に表5〕

【二回ノ一 20 a】

◎益田 先刻遠藤氏ハ麦粉ニ適當ナル倉庫ヲ設ケタル旨述ヘラレタルカ麦粉ニ適當ナル倉庫トハ如何ナル倉庫ノ事ナルヤ

◎遠藤 別段新規ノ倉庫ニハ非ス唯在来ノ倉庫中ニ七尺斗

【二回ノ一 20 b】

煉瓦ヲ積ミ上ケ其上方ハ凡テ鉄葉板ヲ張り又床下ハ周圍一尺五寸程コンクリート、為シ中ニ砂ヲ入レ且ツ上ニ板ヲ張りタル倉庫ニテ鼠ヲ防グ目的ニテ設備シタルモノナリ

◎益田 大阪ニテ麦粉ノ商売ハ如何ナル景況ナルヤ

◎飯田 製粉所ヘ小麦ヲ売ル傍ラ麦粉ヲモ販売ス其他ハ糊ニ販売スルモノニシテ紡織用品販売ノ傍ラ仕事ナリ

◎益田 麦粉總体ノ輸入高ハ何程ナルヤ

◎福井 一ヶ年約百五十万円位ナルベシ二十七年ニハ六十四万円二十八年ニハ四十一万円、二十九年ニハ九十九万円三

十年二八百七十七万円三十一一年二八二百万円ノ輸入アリ (三十一一年度ハ新関税ノ改正ヲ見込十二月中心巨額ノ輸入アリタリ故ニ高多シ) スク輸入額ハ八年ト共ニ増加シ昨今ハ饑頭等ニ至ル迄米利堅粉ヲ使用スルニ至レリ

【一回ノ一 21a】

◎益田 水谷君ヨリ馬関井門司ノ模様ヲ述ヘラレタシ

◎水谷 石炭ハ一昨年来ノ非況引続キ売捌キ捗々敷カラス一時門司二百二十万屯以上ノ貯炭ヲ見ルニ至レリ我社取扱ノ分モ約十五万屯余ノ堆積ヲ見ルニ至リタリ於是乎各坑主ハ一方ニ於テ採掘高ヲ減スルト共ニ一方ニ於テ投売ヲ初メ我社ニ在リテモ亦少々安値ニテモ売飛シタル結果大ニ貯蔵ノ減少ヲ見ルニ至リ七八月ニ迫ンテハ内地ノ景況モ大ニ恢復シ又九月ニ入りテハ米國政府ノ大買収アリ夫此一層人氣ヲ強メタルモ去リトテ其割合ニハ売行活発ナラズ唯久シク不況ニ苦ミタル結果聊カ小康ヲ得タルヨリ坑主ニ在リテモ頻りに炭況ノ回復ヲ唱ヘ新聞紙ノ如キモ亦其盛況ヲ鼓舞シタルヨリ採掘再ヒ増加シ工夫ノ賃金ヲ増加シテ其取合ヲ始ル杯大ニ變調ヲ呈シタリ斯ノ如キ次

【一回ノ一 21b】

第ナリシヲ以テ門司支店ニ於ケル石炭ノ取扱高モ前年二比

シテ差程減額ヲ示サ、リシ即チ昨年ノ取扱高ハ約六十三万屯余也然ルニ本年度ニ於テハ其取扱高大ニ増加シ約九十五万屯余ニ上ルヘキ見込ナリ蓋シ前年来取扱ヒ来リタル關係先ノ石炭採掘高増加シタルト新ニ峰地并岩下石炭ノ一手販売ヲ引受ケタルト將タ又山野石炭ノ產出額頓ニ増加シタルトニ依リ此結果ヲ呈スルモノニシテ其數量ハ三池石炭ヲ除キ豊筑ノミニテ九十五万屯ノ見込ナレハ若シ之ニ三池石炭ヲ加フルトキハ合計九十七万屯乃至一百万屯ニ達スヘク之ヲ豊筑ノ石炭產出高三百五十万屯ニ對比スレハ実ニ其四分ノ一強ハ我社ノ取扱ニ係ルモノト謂フヘシ從テ之カ売捌ノ事ハ中々容易ナラサル事ニテ追々内外各店ノ力ヲ仮ラサルベカラズ今日概略取調ヘタル所ニテハ右ノ

【一回ノ一 22a】

内既ニ売約定ヲ為シタルモノ并ニ慥ニ売行見込アルモノノ約四十四五万屯アリ故ニ残り五十一二万屯ヲ本年中ニ売捌クトキハ首尾克總体ヲ売抜クコト、ナル併シ兎モ角モ此大高ヲ売払フ事故十分内外各支店ノ助力ヲ仰クニ非サレハ到底其目的ヲ達スル能ハサルナリ尚ホ石炭ニ関スルコトハ後ニ至リ石炭ノ相談ニ移リタルトキ詳述スル所アルベシ

過般門司モ開港場トナリタル為メ綿花并綿糸ノ取扱ヲ為スヘキ旨ノ通知ヲ大阪綿花部ヨリ得タリ然レトモ門司ハ石炭

ヲ外ニシテハ全然機関ノ設備ナク從テ之カ取扱ヲ為サンニハ須ク機関ノ設備ヲ為スノ要アリ尚此事モ関係ノ処ニテ詳述スベシ

次ニ馬関ノ輸出米ニ付テハ曩ニ遠藤氏ノ述ヘラレタル如ク昨年ハ中国并四国筋ハ米ノ作柄悪シカリシニモ拘ハラス九州并防長

【二回ノ一 22 b】

地方ハ減作ノ割合極メテ輕カリシ為メ兵庫支店ニ於テ売却シタル分モ馬関ニテ引受呉度旨相談アリ依テ打合ノ上大部分ヲ馬関ニテ引受ケタリ幸ヒ踏込テ買入ヲ為シタル為メ比較的安値ニ買付ヲ為スコトヲ得髓ニ輸出米商売ノ損失ヲ輕メ得タルコト、信ス其後我國ノ米価ハ漸次昂騰シタルカ為メ手合更ニ出来セサリキ

馬関ニ於テハ輸出米ヲ外ニシテ一廉ノ商売ノ形ヲ為セルモノナキモ昨年来石油ノ取扱ヲ初メタリ幸ヒ昨年ハ騰貴ノ一方ナリシ為メ買ヘハ必ス利益ヲ得テ販売シテ予想外ノ結果ヲ得タリ且ツ夫レ本品ハ日用必要ノ品物ナレハ向後必ス一廉ノ商売ニ為ルニ至ルベシ

【二回ノ一 23 a】

次ニ又麦粉ノ商売モ大ニ望ミアリ昨年商務課ノ手ヲ経テ

桑港二十五屯注文シタル分此前着荷シタルカ丁度安値ノ際買付ケタルモノ故相当ノ利益アリ勿論其割ニハ行カサルヘキモ向後モ毎月四千袋即チ百屯位宛ハ必ス売行ヲ見ルナル

ベシ尤モ兵庫ヨリ之ヲ取寄セ居リテハ到底引合ハサルヘキヲ以テ門司開港ヲ利用シ直接桑港ヨリ取寄スル考ナリ

牛莊ノ大豆并大豆粕商売ハ太甚微々タルモノナルモ門司モ開港場トナリタル事ナレハ向後ハ多少其商売成立スヘシト考フ折角取調ヲ尽シ此商売ノ發達ヲ計図セント欲ス

◎益田 本年取扱フヘキ九十五万屯ノ石炭ノ内貝嶋氏委託ノ分何程アリヤ

◎水谷 凡ソ四十五万屯ナリ其他ハ豊国金田峰地岩下山野等也現今鐵道局ニ於テ使用スヘキ豊前ノ上等炭ハ四十五万屯位

【二回ノ一 23 b】

ナルカ其内二十二万屯余ハ我社ノ取扱ニ係ルモノナリ

◎福井 当社總体ノ石炭取扱高ハ約二百万屯位ニ達スルナラム而シテ茨城并磐城炭ハ凡ソ何程ナルヘキヤ

◎平田 七八万屯位ナルヘシ  
◎長谷川 昨年度ニ於ケル我社ノ石炭販売高ハ合計百四十六万六千八百〇三屯ニシテ其内三池炭五十四万八千三百七十七屯、雜種炭九十一万八千四百二十五屯ナリ

◎益田 次ハ名古屋支店ノ状況ヲ報告アリタシ

◎寺島 綿花肥料并石炭ノ事ハ諸君ノ述ヘラレタル所ト同一ナルカ先ツ愛知県全体ヨリ見ルトキハ昨年初メノ内ハ景氣悪シカリシモ年末ニ近クニ從ヒ大ニ回復ノ色ヲ現ハセリ從テ一昨年来控ヘ目ニシタル事モ幾分カ手ヲ付ケ初メ工場ノ如キモ少シク擴張

【一回ノ一 24 a】

スルモノアリ而シテ我社ニ於テハ愛知県ニ於テ種々經營スヘキ仕事アレトモ余ノ考ニテハ土地ノ状況カ未タ十分明カナラサルニ先チ餘リ踏ミテ種々ノ仕事ヲ為スハ失敗ノ基ナリト思惟シ所謂漸進ノ方法ヲ講シ居レリ即チ最初ハ器械ノ取扱ヲ為シ次ニ綿花、石炭、肥料、并雜貨等ニ及ホセリ而シテ綿花ハ幾分カ注文高モ増加シ愛知県下ニ輸入セラル、綿花ノ内三割一分ハ我社ニ於テ取扱フコト、ナリタリ尤モ綿花ニ就テハ追々競争者増加シ且ツ現物ヲ持チ来リテ売買スルコト、ナリタル為メ商売上大ニ困難ヲ感スルコト、ナリタリ蓋シ愛知県下ニ於テハ凡ソ現物ヲ取扱フノ風アリ最初紡績会社ハ綿ノ現物ヲ売買スル者勿リシヨリ已ムナク先物ヲ買約シタルモ近来現物ヲ売買スル者増加シタルヨリ紡績会社モ亦現物ヲ引

【一回ノ一 24 b】

寄セ検査ノ上之ヲ買取ルコト、ナリ取引上一層ノ困難ヲ増加スルニ至リシナリ  
次ニ石炭ハ總高七万吨ノ内名古屋支店ニ於テハ約四万吨即チ半数以上ノ売捌ヲ為シ得ルニ至レリ名古屋支店ノ商売中ニテハ綿花石炭ノ二者ハ大ニ商売ノ順序付キタルモノナリ又昨年来牛莊ノ大豆并大豆粕ノ商売ヲ始メタリ前ニ述ベタル如ク名古屋ハ凡テ現物取引ノ行ハル、所ナルカ故ニ先物約定ハ困難ナリシモ百方奔走ノ末最初ハ幾月ニモ割リ一船ヲ五人位ニ分割シテ売約シ手付金ヲ收受シ本船到着ノ節ハ現金引替ニ荷渡スルコト、シ茲ニ直輸入ヲ企テタルカ品質良好ニシテ値段又割安ニ当リタルヨリ追々注文者頭ハレ一艘分ノ約定モ成立シ結局十四艘ノ手合出来セリ又茲ニ

【一回ノ一 25 a】

非常ノ困難ヲ感スルハ名古屋ニテ売約定スルモノハ四日市又ハ武豊ニ輸入スル順序ナルカ双方共二十分ノ設備ナク大ニ不便ヲ覚ユルノ点ナリ殊ニ武豊ニ至リテハ昨年末ニ我名古屋支店ニ於テ大豆大豆粕ノ輸入ヲ試ミタルモノ実ニ其權與ナレハ人足ノ如キモ取扱ニ慣レス且倉庫ノ設備モ之ナキカ為メ大ニ不都合ヲ感セリ乍去三河地方ニ配送スルモノハ勢ヒ武豊ニ輸入セサルベカラサルヲ以テ向後武豊ニハ之ニ

対スル設備ヲ為スノ要アリト考フ

雑貨ニ至リテハ其種類許多ナルモ仮ニ之ヲ輸出ト輸入トニ  
 区別スレハ輸出ニハ土管、箱類、セメント樽、ビール箱、  
 茶箱等見込アリ又紙毛岐阜地方ニ産シ向來有望ノ商品タリ  
 又豊橋付近ヨリ産スル生姜モ年二十万円内外ノ輸出アリ

【二回ノ一 25 b】

過般引合ヲ初メ聊カナカラ注文ヲ引受ケタリ又輸出品中最  
 毛望ミアルモノハ木綿反物ナリ元來愛知県ニ於テハ木綿反  
 物ノ景氣如何ニ依リ其盛衰分ル、位ニテ実ニ重要ノ商品ニ  
 属シ一カ年ノ産出額約三千万反内外之ニ従事スル者大凡八  
 万人之ニ使用スル機台八万四千台ナリト云フ然ルニ從來余  
 リ海外ニ輸出セサリシ為メ品種一定セス寸尺ノ如キモ亦  
 区々タリ依テ其纏メ方ヲ談シタルモ何分多クノ種類ヲ織出  
 ス為メ一万反若クハ二万反ト纏リタル品物ヲ得ルコト能ハ  
 ス現二十万反以上ヲ取扱フ商人ノ説ヲ聞クモ百種若クハ二  
 百種ヲ取集メ初テ十万反ヲ取揃ヘルカ如キ有様ナリト云フ  
 故ニ之カ輸出ヲ計ルニハ須ラク織機ヲ改良シ且ツ原料タル  
 糸并染料等モ一定ノモノヲ使用シ以テ同種類ノ棉布ヲ製織  
 スルコト、為サ、ルベカラズ

【二回ノ一 26 a】

幸ヒ此度中央織物協会ト称スル団体組織セラレ輸出ニ適当  
 スル棉布ノ製織ヲ盛ニスルノ策ヲ講スルコト、ナリタルヲ  
 以テ向後漸次改良ヲ見ルナラム

次ニ雑貨中向後見込アルモノハ毛類ナリ何故毛類ハ見込ア  
 リヤト云フニ生糸ハ値段高価ニシテ一般ノ需用ヲ充タスニ  
 足ラス去リトテ又一般ノ風潮ハ漸ク奢靡ニ赴キ木綿反物ヨ  
 リ瓦斯系織ニ移リ更ニ一段ノ進ミヲ見ントスルモ絹織物ニ  
 進ムハ余リニ突飛ナリ而シテ其間ニ介在スルハ毛類ニ外ナ  
 ラサレハナリ其故ニ昨年来毛織ノ業ハ漸ク盛ヲ致シ絹ト毛  
 ノ交セ織并毛ト綿トノ交セ織等カ大ニ一般ノ需用ヲ喚起ス  
 ルニ至レリ又愛知県ニハ綿毛布ノ産出アリタルカ是毛綿ノ  
 ミノ分ハ漸次衰ヘ毛ヲ交ヘテ織立ツル傾向ヲ生シ相当ノ

【二回ノ一 26 b】

輸出アリ膝掛并肩掛等毛織成スルコト、ナリタリ且此程綿  
 毛布組合ナルモノ設立セラレ向後大ニ輸出品ヲ製織スルノ  
 目論見ナリ從テ毛類ノ需用ハ益増加スヘシ此等ハ東京営業  
 部并大阪支店ト打合セ其売込ニ尽力スルノ考案ナリ  
 又飯田氏述ヘラレタル支那柞蚕糸并支那生糸モ輸入ヲ見ル  
 ニ至ヘシ殊ニ柞蚕糸ヲ盛ニ使用スルニ至レハ面白キ商売ト  
 ナルベシ

印度藍ハ愛知県下ニ於テ約六十万円余ヲ消費ス蓋シ従前ハ

日本藍ノミヲ使用シタルモ近來ハ漸次研究ノ末十中ノ六七迄ハ印度藍ヲ使用スルコト、ナリタリ之モ大阪ト打合セ現ニ取扱ヲ為シツ、アリ

【二回ノ一 27 a】

銑鉄モ大分売行ノ望アリ名古屋付近ヘハ毎月三百屯宛ノ輸入アルヲ以テ此内相当ノ数量ヲ我手ニ収ムルコトヲ得ベシ又前二述ヘタル如ク愛知県ニ於テハ氣運回復ノ兆アリ一乃宮紡績ニ於テ二千鍾津島紡績ニ於テモ二千鍾増鍾ノ計画アリ又三重紡績分工場ニ於テモ六百台ノ機台ヲ増加スルノ企アリ殊ニ一段ノ進歩ハ名古屋地方ノ各紡績カ一致團結セントスルノ傾向アリテ尾張三重ノ両紡績ハ合併ノ内相談中ナリト云フ是レ蓋シ棉花高ノ綿糸安カリシ等ノ事ヨリ經濟ヲ共ニスルノ必要ヲ悟リタルニ依ルモノニシテ名古屋地方ニ於ケル紡績事業ノ一進歩ト謂フベシ

肥料ノ内ニテ綿実ハ大分名古屋地方ニ売行クヘキ見込アリ上海支店ト引合中ナリ昨年モ取寄セタルカ之ハ油ヲ搾リ其滓

【二回ノ一 27 b】

ヲ肥料ト為スモノナリ

石油八名古屋ニ一ヶ月一萬函ノ輸入アリ之モ越後油杯ヲ安

値ニ輸入スルヲ得ハ大部分ヲ我社ノ掌裡ニ収ムルコトヲ得

人造肥料ハ大ニ尽力シタルモ望薄シ何トナレハ三河付近ノ地質上人造肥料ノ必要ナル場所ニハ直接人造肥料会社トノ特約店アリ只今残り居ルハ人造肥料ノ必要ナキ場所ノミナレハ仮令見本ヲ送リテ勧誘スルモ更ニ其効能ナシ這ハ大ニ研究ヲ要スル点ナリ

土管ハ台湾ノ汽船ニテ二艘半分程送リタリ台湾ノ外ニハ見込ナシト考フ

◎益田 次ニ神戸ノ景況ヲ述ヘラレタシ

◎吳 神戸ノ取扱ハ特種ノモノナリシッピング并為替ノ事ヲ取扱ヒ

【二回ノ一 28 a】

傍地方的ノ商売ヲ經營シ又船舶雇入ノ事ヲ取扱フ第一ニシッピングノ事ヨリ述ヘンニ神戸店カ取扱フ所ハ兵庫并大阪店ノ輸出入品ニ在リ之カ為ニ多クノ人員ヲ使用シ日夜役々トシテ出精スルモ神戸店ニ於テハ殆ント利益ヲ取ムルコトナシ若シ神戸店ニ於テ利益ヲ取メン乎大阪并兵庫店ハ迷惑ヲ蒙ルヘシ要スルニ神戸ノシッピングヲ繁昌セシムルハ大阪并兵庫店等ニ在リ神戸ハ一心不乱ニ働キテ親切ニ輸出入品ノ取扱ヲ為シ可成其チャージスラ安クシ以テ他店ノ商売

ヲ助長セシメンコトヲ計ルヘキナリ而シテシッピングノ取扱ニ関シテ研究シ得タル所ハ從來重ニ回漕問屋ニ依頼スルノ傾アリタルモ目今可成支店直接ニ之カ取扱ニ従事スルニ在リ又舩船モ從來他ニ依頼シタルモ神戸ニ於ケル舩ハ払底ニシテ不完全ナリ日本ノ

【二回ノ一 28 b】

貿易殊ニ三井ノ貿易業ハ長足ノ進歩ヲ為シタルニ依然此不完全ナル設備ニ依頼スルハ危険千万ト云ハサルヘカラス故ニ早晚自ラ舩船ヲ造リ他人ニ依頼スルコトヲ廃セサルヘカラス其他荷揚場所并倉入等ノ事發達セス此点ハ税関長ニモ迫リ又地方有志家ニモ協議シテ頻リニ其設備ニ苦心中ナリ元來シッピングノ事ハ困難極メテ多シ殊ニ輸入荷物ノ如キ無事ニ到着スルモノハ殆ント罕ニシテ十中七八ハ苦情付ノモノナリ之ニ対シ会社ノ利益トナル様夫々措断スル所ナカルベカラズ荷物入りタルトキ輸入届ヲ出シ荷物ヲ出ストキ輸出申告書ヲ出セハ能事終レリト云フヲ得ス綿ノ苦情器械ノ苦情等続出シ且ツ七月以來税関規則ノ改正アリテ手續厳重トナリ又時々税関ノ不当処分ニ対シ税関長ニ訴願ヲ提起スヘキコトアリ此等ノ

【二回ノ一 29 a】

コトハ自店ノ商品ヲ取扱フトハ異ナリ他店ノ商品ヲ取扱フ事ニシアレハ取扱者タル我々ニ於テ層一層ノ心配アリ又為替ノ事ハ正金又ハ他ノ銀行ニ就キレートヲ聞キ合セ大阪又ハ兵庫支店ニ打合セ之カ取扱ヲ為ス就中支那ニ輸出スル綿糸ニ就テノ為替取組ヲ為ス場合最モ多シ而シテ我社ニ於テハ大体為替ノリスクヲ取ラサル制規ニ付商売成立チタルトキ為替ノ取極メヲ為スヲ例トス

又輸入品ニ就テハ金融ノ世話ヲ為サルベカラズ即チ輸入品ニ対スル為替ハ神戸ニ於テ引受承諾ヲ為シ期日之ヲ支払フ近來会社ノ為替引受高漸ク増加シ來リ正金并チャータード銀行払ヲ合シ為替ノ支払承諾高多キハ四百方少キモ二百五十万内外アリ正金ニ対スル信用百五十万円チャータード銀行ニ

【二回ノ一 29 b】

対スル信用四十万円ヲ超過スルコト決シテ珍シカラズ從テ其超過高ハ現金ヲ以テ払入レサルベカラズ斯ノ如キハ太甚不便ナルヲ以テ其クレヂツトノ制限ヲ擴張シ各銀行ト便利ノ取扱ヲ為サ、ルヘカラズ此事ハ常ニ念頭ヲ離レサル所ナリ蓋シ会社ノ資本金額ヲ百万円ト定メ之ヲ世間ニ公表スルトキハ物産会社ハ資本百万円ナルニモ拘ラズ非常ニ大ナル商売ヲ為ストテ却テ信用ノ程度ニ制限ヲ置カル、カ如キコ

トナキヤノ虞アリ併シ一意信用ヲ増スコトニ付テハ努メツ、アルナリ

雇船ノ事ハ内地若クハ海外ニ石炭ヲ運送スル為メ日本船ヲ雇入ル、コト最モ重モナルモノニシテ時ニ又外国船ヲ雇入ル、コトアリ蓋シ日本船ト外国船トヲ問ハス日本内地ニ於テハ神戸ハ実ニ中心市場ナルカ故ナリ元來日本ニ於テハ商売上ノ機関具備セス取

【二回ノ一 30 a】

扱上不便ヲ感スルコト多々ナルカ雇船ノ場合ニ於テモ亦外國ニ於ケルカ如ク二十四時間若クハ四十八時間ノレヒユ一ザルヲ与へ呉ル、カ如キコトナシ故ニ船ノ入用店ニ運賃割合ヲ電信シ其返事ヲ得テ船主ニ雇入ヲ申込ムモ最早約束ハ成立セサルコトアリ斯ノ如キハ実ニ已ムヲ得サルナリ

神戸ノ商売ニハ地方的ノモノアリ又大阪并東京營業部ノ取次商売アリ石炭ハ地方的の商売ノ重モノナルモノナレトモ此事ハ後ニ石炭ノ御相談アル節述フルコト、スベシ鐵道用品即チ山陽鐵道へ軌條機關車杯ヲ売込ムカ如キハ東京營業部ノ取次商売ナリ又川崎造船所ノ材料品ハ大阪支店へ引合ヒ約定ス此等ハ必スシモ神戸ニ於テ直接取引ヲ為スコト能ハサルニ非ルモ見積方困難ナル故寧ろ常ニ其

【二回ノ一 30 b】

見積ニ従事スル東京營業部又ハ大阪支店ニ打合セ其指図ヲ得テ引合ヲ為ス方危険ノ憂ナシ但神戸支店ニ於テ直接ニ引合ヲ為シ得ヘキモノ例へハ川崎造船所へセメント三千屯売却シタルカ如キハ直接倫敦へ引合ヒテ約定ヲ取結ヒタリ  
次ニ樟腦ノ商売モ神戸支店ニ於テ取扱フ尤モ今日迄ハ僅少ノ社持品并大東商行委託荷ヲ販売シ相当ノ利益ヲ収メ得タルニ止マレトモ台湾總督府ニ於テ本年二三月頃樟腦専売ヲ実行シ其一手販売ヲ有力ナル会社ニ托スル趣キナレハ幸ニシテ其販売ヲ引受ケ得ルトスレハ台北、神戸、香港等ノ好商売トナルベシ聞ク所ニ依レハ右樟腦ニシテ差向キ販売ヲ托セラルヘキモノハ約五百万円内外ノ由ニテ

【二回ノ一 31 a】

之カ販売引受ニ運動セルモノ二三ニシテ止ラサル趣キナレハ我社ニ於テモ大ニ尽力セラレシコトヲ望ム  
神戸支店ニ尚一ツ特種ナルモノハ日本ノ珊瑚ヲ海外ニ輸出スルニアリ之ハ伊太利ノ珊瑚商カ日本ニ來リタル際買付方ヲ引受ケタルモノニシテ愈買付ノ場合ニハ本国ヨリ代金ヲ送致スルニ依リ極メテ安全ナル取引ニシテ昨年來尅十五六万円余ノ商売ヲ為シタリ思フニ一ヶ年三十万円位ニハ達スルナラム

此他船用品ノ委託買付并馬尼刺麻ノ商売アリ後者ハ大分引合出来シタルモ非律賓戰乱ノ結果荷物手ニ入り難ク今日ハ商完成立セサルモ平和克復ノ後ハ追々手合成立スヘシ又砂糖ノ商売アリ之ハ香港支店トノ連絡商売ニテ内外砂糖会社ノ委託ニ依リ香港ニ於テ白糖

【二回ノ一 31b】

并赤糖ヲ買付クルモ金高多カラズ

◎福井 珊瑚ノ出高ハ何程ナルヤ

◎呉 凡ソ二十八万円位ニシテ是迄ハ独逸人カ之ヲ取扱ヒタルモ昨午物産会社カ取扱ヲ開始シテ以来荷主ハ何レモ我社へ現品ヲ持参シ来リ之ヲ倉入ス当方ハ其品質ヲ見生キタルモノ枯レタルモノ杯ヲ区別シ且大小ニ依リ仕訳ヲ為シ値段ヲ定メテ買取ルナリ伊太利向ハ色合ノ赤キ方宜シ昨午下半季ニ於テ雜貨掛ノ利益ハ樟腦ト珊瑚ト二品ニ依テ得タルモノト謂テ可ナリ

◎飯田 シツピングノ事ニ付呉氏ノ趣旨ヲ承リ大ニ安心セリ大阪支店ノ各掛ニ於テハ昨午下半季ニ於テ神戸支店ノ利益少ナカラサリシヲ見大ニ氣ヲ揉ミタルモ神戸支店ハ利益ヲ取メス畢竟大阪ノ如キ輸出入品取扱ヲ托スル店ノ便益ヲ斗ルトノ御主意ニテ進行セラル、ヲ聞キ大ニ心ヲ安ンシタリ何卒其主意ヲ貫串セラレタシ

【二回ノ二 1a】

◎益田 松尾氏ヨリ長崎支店ノ商売ノ概況ヲ述ヘラレタシ

◎松尾 私ハ昨年九月初ヨリ遼東半島へ出張ヲ命セラレ長崎ニ在ラス且歸來早々上京シタル故十分ノ取調モ出来サリシモ大略私ノ記憶ヲ述ヘンニ長崎於ケル雜貨ノ商売ハ一時三池支店ニ移リ居リタルモ重役ヨリノ御指図モアリ且ツ自カラ考ヘタル所モアリテ客年以來奮テ本商売ノ擴張ニ努メタリ昨午下半季ノ取扱高ハ豆、豆粕六万円余、牛骨一万三千元余石油九万五千円余(之ハ三池ト連合シテ取扱ヲ為シタリ)ナリ砂糖ハ専ラ三池ノ取扱ニ任シアリタル故長崎ニハナシ如此長崎ニ於ケル雜貨ノ商売ハ未タ盛況ヲ呈スルニ至ラサルモ向後ハ大ニ奮テ之レカ経営ヲ為スヘキ筈ナレハ其取扱高モ増加スルナルヘシ今日ノ処豆粕ト牛骨ノ商売ハ大ニ望ミアリ次ニ種粕

【二回ノ二 1b】

ノ商売モ見込アリ種粕ト豆粕トハ殆ント同シ金高ノ輸入アリ且種粕ハ豆粕トハ異ナリ冬季牛莊地方閉河中ト雖モ上海ヨリ統々輸入セラル、カ故ニ間断ナク之カ取扱ヲ為スコトヲ得ヘシ昨午上海ヨリ輸入セラレタル高ハ約六十万円ナリシト覺ユ又支那棉モ少シツ、ハ取寄セ売却ス石油ハ昨年度

ニ於テ値段追々騰貴シタルカ為メ長崎ニ於テモ二万兩位ハ買持シタシト考ヘタルモ大ニ用心ヲ加ヘ千兩乃至三千兩宛買入レ其翌日直チニ相当ノ利益ヲ得テ売却スルト申ス如ク可成危険ヲ避ケテ之カ取扱ヲ為シ相当ノ利益ヲ取得セリ此商売ハ前ニモ一言セシ如ク三池支店ト共同商売ナリ  
次ニ砂糖ニ付テハ白糖ハジャーデン并バタフヒルトニテ九州并下関地方ニ売込ミ居リ又独逸白糖ノ輸入アルモ此方ハ向キ口悪シ

【一回ノ二 2a】

長崎支店ニ於テハ一時大阪精糖会社ノ白糖ノ売捌キヲ計画シタルモ運搬不便ノ為メカ値段割高ニ当リ商売ト為ラサリシ又黒砂糖ハ長崎ニ於テ一手ニ引受ケンコトヲ努メタルモ神戸ヨリ香港ヘ共同組ノ者出テ、黒糖ヲ買取り一歩位ノ口錢ヲ得テ長崎ヘ持ち来リ居ル故競争大ニ困難ナリ元來長崎ニハ砂糖商人六人アリ互ニ連合セリ故ニ我社ニ於テ砂糖ノ商売ヲ経営セントセハ此等六人ノ商人ノ委託ヲ受ケテ之ヲ買付六人ノ商人ニ売渡スカ又ハ直接需要先ニ販売スヘキカヲ研究セサルヘカラス而シテ長崎ノ砂糖商人ハ需要先ト年来ノ取引アリテ需要先ノ身代ヲ計リ二千円若クハ三千円位宛ノ取引ヲ為ス五島鹿兒島其他九州一円皆然リ斯クシテ砂糖ト共ニ石油ヲモ売込ミ其代リトシテ海産物ヲ持ち来リ又

之ヲ販売スル

【一回ノ二 2b】

カ如キ仕組ナルヲ以テ直接ニ需要者ト取引スルコトハ甚タ困難ナリ又長崎商人ハ倒レ等ヲ見込ミ組合ヲ設ケテ五分位ノ口錢ヲ貪リ買手モ亦其値段割高ナルコトヲ知ルモ砂糖并石油等ヲ買取り海産物ヲ売渡スカ如キ密接ノ関係アル為メ別ニ苦情等モ申立テス依然取引ヲ為シツ、アル有様ナリ斯ル次第ナルヲ以テ需要者ト直接取引ノ事ハ甚タ困難ナリ依テ長崎商人ニ対シ物産会社ニテ爪哇ノ砂糖ヲ取寄セ売却セント欲スルカ之ヲ引受ケテ販売スルノ意ナキカ若シ引受ケ欲セサレハ直接需要者ニ売却スベシト申入レタルニ彼等曰ク九州地方ノ売レ高ニハ限りアルヲ以テ無暗ニ取寄セラル、モ売り方ニ困難スヘキヲ以テ我々ヨリ注文スル高丈ヲ取寄セラル、様致シタシ云々然ルニ彼等ハ共同組ヲ香港ヘ出張セシメ

【一回ノ二 3a】

居ル故之ト交渉シ運輸ノ便為替相場ノ差等ヲ利用シ当社ヘノ注文ヲ掛引セラル、トキハ我社ハ却テ彼等ノ為メニ踏台トセラル、ノ恐レアリ故ニ此要求ハ断然勿付ケ直接需要者ニ販売スヘキ旨答ヘ置キタリ尚此点ハ大ニ注意ヲ要スルモ

ノト考フ

向後三池支店ノ商売ノ大部分ヲ長崎ニテ取扱フモノトスレハ何品力重ナル商品トナルヘキヤト云フニ大豆、大豆粕、種粕、砂糖、牛骨及石油ナルヘシ豆粕ハ兵庫ヘ引合ヒ之ヲ取寄セ牛骨ハ天津ノ引合ニシテ同店ニ於テハ近來大ニ力ヲ牛骨ノ商売ニ尽シツ、アルニ依リ結果大ニ見ルヘキモノアリ長崎ニ輸入スル品物ノ内三分ノ一以上ハ当社ノ取扱ニ係ル而シテ長崎ニ輸入スルモノハ獸骨ナル總括名義トナリ居リ其内ニ牛骨ヲモ含ムモノニテ獸骨ノ輸入高ハ合計十七万九千七百十五円ナリ素ヨリ大高ノ商売

【一回ノ二 3b】

ニハアラサルモ三四分位ノ口錢アリ必スシモ棄テタルモノニアラス向後益々其擴張ヲ計ル考ナリ尚買付方ニ付テハ上海支店ニモ交渉中ナレハ同店ニ於テ大ニ尽力シ呉ル、コトナラン天津ノ方モ是迄ハジャーデンバタフヒルド等精糖ニ従事スル会社カ買入レタルモノヲ分与シ貰ヒ長崎ヘ送荷スルモノニシテ長崎ニ買入アル場合ニハ天津ニ於テ品物揃ハス又天津ニ品物アルトキハ長崎ニ於テ買入ナシト云フカ如キ有様ニテ往々商売ヲ取逃スコトアリ故ニ之ハ天津ニ於テ充分手ヲ付ケ貰ヒ注文ナキモ品物ヲ買集メ精糖会社ヘハ当社ヨリ売込ム位ニ致度モノナリ

牛莊ノ豆粕モ長崎ヘ五十五万円余ノ輸入アリ之モ物産会社ニ於テ大部分ヲ握ルコトニ致シタシ

長崎ヘノ石油輸入高ハ五十四万一千円余鉄類輸入高ハ六

【一回ノ二 4a】

十八万五千円余米ノ輸入高ハ九万九千円余豆類ノ輸入高ハ十四万七千円余ナリ是等ニ付テモ十分其販路ヲ当社ニ占ムルノ策ヲ立テ九州大陸ハ勿論其他ヘモ及ホシテ商売ヲ擴張スル考案ナリ唯茲ニ商売上最モ困難ヲ感スルハ運輸ノ不便ニアリ此点ハ充分研究ヲ要ス

余カ此度長崎ヨリ出発シテ東上スル際長崎税関長ニ面晤シタルニ同税関長ヨリ輸入ト輸出トハ其價格ニ於テ七百万円余ノ相違アリ即チ輸出カ輸入ニ比シテ少額ナルコトハ如何ニモ残念千万ナレハ向後輸入ノミナラス輸出ニモ充分力ヲ致サレ度勿論輸出品ニ付テハ出来得ル限りノ便利ヲ与フヘキ旨懇ニ談話アリタリ現今輸出品ノ重ナルモノハ石炭、茶、米、海産物、木炭、織物、材木等ナリ

【一回ノ二 4b】

昨年下半年ニ於ケル長崎支店石炭取扱高ハ八万三四千屯ニシテ前季ニ比シ一万吨余ノ増加ナリ之レハ何レモカゴー又ハバンカーニ売りタルモノナリ向後益々其取扱高ノ増加ヲ

見ルヘキ予定ナリ木炭ハ長崎ニ於テ輸出シタルモノ四万二千円余口ノ津ニテ輸出シタルモノ二万円余ナリ

長崎ヨリ海外ニ対スル商売ハ上海香港并天津ニハ既ニ支店ノ設ケアル故姑ク別論トシ浦塩斯徳、西比利亞地方旅順口大連湾地方等ニ対シ大ニ擴張セサルヘカラス此他尚種々述ヘ度事アレトモ子細ニ亘ル故之ヲ略ス唯終リニ一言スベキハ運輸ノ不便ハ大ニ商売ノ進運ヲ阻害スルヲ以テ充分ニ此便利ヲ計リ貫ヒ度点ナリ

◎上田 運輸ノ便トハ旅順口大連湾ニ対スル事ナリヤ又ハ長崎八代

【一回ノ二 5 a】

間若クハ長崎唐津間其他ニ対スル運輸ノ事ナルヤ

◎松尾 各地方ニ対スル運輸ノ事ナリ唐津ヨリ長崎、住ノ江ヨリ長崎、口ノ津ヨリ長崎ニ至モノ何レモ不充分ナリ且艀船ノ如キモ其数少ナク彼等ハ何レモ組合ヲ組織シ運賃ヲ引上ケサレハ積込ミニ応セサル等被雇人ノ方却テ雇主ヨリ權力強キ有様ナリ此他旅順口大連湾ニ対スル運輸モ一層不便ヲ感ス一例ヲ挙クレハフアーガッソン商会カセメントヲ威海衛ヘ送ルニ当リ一度上海ヘ送付シ同所ニテ積替ヘテ芝罘ニ送り更ニ之ヲ威海衛ニ転送シタル為メ一樽六円ニ当リタリト云フ過般余ノ同地ニ赴キタル際セメント百樽ノ注文ア

リ金利ヲ見込ミ一樽三元三十五銭ニテ注文ヲ引受ケ芝罘ヨリ広濟号ヲ以テ威海衛ヘ送リタルニ一樽四円ニテ上リタリトテ大ニ悦ハレタリ

【一回ノ二 5 b】

◎益田 南氏ハ口ノ津赴任後日尚ホ浅キモ一応同支店ノ用務ノ概要ヲ述ヘラレタシ

◎南 口ノ津ノ事ハ諸君モ大抵皆御存シナル故意見并希望等ヲ述フルコトヲ止メ聊カ数字ニ依テ陸揚船積ノ事ヲ述フヘシ

先ツ陸上ケノ事ヨリ述ヘンニ山ヨリライターヲ繰回シ来ルコトニ付研究ノ末杵島郡ノライターニ付テハ上半季間ハ一屯ニ付四十四銭ヲ支払ヒタルモ下半季ハ勉強ノ結果二十八銭ニテ挙リ差引十六銭丈ハ節約スルコトヲ得タリ三池炭ニ付テハ生憎上半季ノ調ヘナキモ下半季ノ滞船料ハ口ノ津三角ヲ合ハセ一屯ニ付三銭ニ止マリタリ蓋シ是レ三池石炭ニ付テハ特ニ勉ムル所アリタルニモ依ルヘケレトモ又一ハ貯炭場ノ都合宜シカリシニ職因スルモノニシテ杵島ノ炭ニ滞船料多キハ一時三池炭カ十万モ二十

【一回ノ二 6 a】

万モ堆積シ貯炭場ニ不足ヲ告ケタルニ由ル尚貯炭場ハ一般

二狹隘ヲ告ケ居ルニ依リ目下埋立ヲ為シツ、アリ  
 次ニ船積ノ事ニ付テハ昨年一月本店ヨリノ達アリタルモ口  
 ノ津ニ於テハ人足不足ナルト天候其他ノ障害ノ為メ規定ノ  
 時間内ニ荷役ヲ結了セシムルコト能ハス即チ下半年ノ船積  
 時間ハ剣山平均七十五時間彦山七十三時間勝立七十一時間  
 有明六十時間富士山四十一時間愛宕山四十四時間阿蘇山三  
 十五時間月極雇船ラグナ四十二時間アリエル四十九時間ナ  
 リシ而シテ爾來船積時間ノ短縮ニ付テハ銳意力ヲ尽シ十二  
 月中ハ幸ニ規定通りニ行ハレタルモ一月ノ初メ珍シクモ本  
 船六艘一時ニ入港セルアリ為メニ規則ヲ破ルノ已ムヲ得サ  
 ルヲ致セリ口ノ津ニ於ケル船積人足ハ總テ千五十人アリ其  
 内先年人足受負人南彦

【二回ノ一 6b】

七郎カ沖ノエラブ島与論島及コシキ島ヨリ移住セシメタル  
 人足四百五十名(内十名ハ朝鮮人)アリ尤其内百名計リハ  
 歸島セリ  
 港内ノ浚渫ハ一般ノ浚渫船ヲ以テ少シツ、実行スルニ過キ  
 サレハ素ヨリ満足ノ結果ヲ得ル能ハス  
 三角ニ於ケル船積ハ昨年入港シタル船舶ノ計算ヨリスレハ  
 新港ノ割合ニハ結果良好ナリ即チ有明八十三時間阿蘇山三  
 十八時間愛宕山六十五時間アリエル三十九時間富士山七十

時間ナリ但富士山カ此長時間ヲ荷役ニ要シタルハ全ク天候  
 險悪ナリシカ為メナナリ蓋シ三角ハ新開港場ナレハ人夫ノ  
 働キ数倍ナルノミナラス役員モ夫々熱心ニ働キタルニ依リ  
 口ノ津ニ比シテ遜色ナキヲ得タルナリ  
 此他口ノ津ニハ木炭ノ商売アルモ極メテ微々タルモノナレ  
 ハ茲ニ述フル

【二回ノ一 7a】

ノ必要ナシ

◎益田 口ノ津港ニ於ケル輸出入品ノ高ハ何程ナルヤ同港ハ  
 三井ノ開港場ト称スルモ可ナル場所柄ナレハ其辺一応承リ  
 タシ

◎南 口ノ津全体ノ輸出入品ハ只今取調ヘタルモノヲ持參セ  
 サルモ物産会社取扱ノ輸出入品中重モノナルモノヲ挙クレハ  
 左ノ如シ但此高ハ口ノ津全体ノ輸出入品ト大差ナシ  
 輸入品ノ重ナルモノ

品目	三十二年下半季	三十二年上半季
棉花	五、五〇九担	三、一七四担
砂糖	五、八八五担	四、八〇六担
肥料	八、九六九担	—
コールタ	三、一二五グラム	—

【一回ノ二 7 b】

輸出品ノ重モナルモノ

品目	三十二年下半季	三十二年上半季
棉糸	二五、四三五担	二〇、八八七担
木炭	一三、〇九〇担	一九、九二五担
セメント	二、七一八樽	六二〇樽
硫酸	一五〇箱	二二〇箱
コークス	一、二三八屯	四九八屯

◎長谷川 石炭ヲ一度陸上スルト舁ヲ滞船セシメ置キ本船ニ直キ移シスルト利害如何

◎南 仮令滞船料ヲ支払フモ直移シトスル方一度陸上ケシ炭質ヲ悪シクシ更ニ舁賃ヲ支払ヒテ積込ムヨリモ利益ナリ

◎益田 次ニハ北村氏ヨリ生糸商売ノ事ヲ承リタシ

【一回ノ二 8 a】

◎北村 横浜支店ノ商売ハ二ツ二分ツコトヲ得シッピング并生糸ノ事はナリシッピングノ方ハ別ニ申上ルコトナシ畢竟昨年同様ノ取扱ヲ為スニ止マリ新タニ計畫スヘキモノナシ世ノ中力進マサルニ独リ当社ノミ飛上リタルコトヲ為スモ詮ナキ事ナリ唯荷物滞ラシメサル様又諸掛リガ多ク掛ラヌ様ニ為スヘキノミ

次ニ生糸ハ嘗テ見モシ聞キモシタルコトナク此度横浜ニ赴

キ初メテ研究スルコト、ナリタル次第ナルカ昨年ハ実ニ非常ノ年柄ニテ仮令空前絶後トハ云ヒ得サルモ確カニ空前ノ年柄ナリシ其際突然飛込ミテ經驗ナキ者カ取扱ニ任シタル次第故充分ノ仕事ヲ為シ能ハサルハ怪シムニ足ラス先ツ養蚕ノ事ヨリ申セハ昨年ハ平均平年作ナリキ即チ関西地方ハ出来宜シカラス値段從テ高カリシモ養蚕ノ本場トモ云フヘキ関東信州地ハ出来宜シク

【一回ノ二 8 b】

値段從テ安カリシ而シテ新繭出市ノ頃ハ製糸家ハ何レモ八百五十円位ニ売行ケハ手一杯ノ計算ニテ若シ相場カ其上ニ出ツルトキハ夫レ丈ノ利益トナルヘシト算盤ヲ取りタリ然ルニ新糸ノ出ツルニ当テヤ値段意外ニ手堅ク亜米利加向ノ太糸飛切上(普通ノ器械一番ヨリ四十円高)ヲ初商内ニ千四十円ニテ買入レタリ當時世人ハ物産会社カ此高値ヲ支払ヒタルヲ見テアレハ紐育ノ岩原カ才土産ニ買ヒタルナラント申合ヒ居リタルカ其後相場ハ漸次昂進シ千四十円ハ最低値段ニシテ其當時生糸商売ニ經驗アル人モ米國ニ於テ上値ニ売行クニハ驚キ居リタリ而シテ日本ノ相場ハ其後一時安値ノコトモアリタレトモ概シテ騰貴ノ一方ニシテ十一月末ノ最高値段ハ実ニ千五百円ニ上リタルコトアリキ又産出ノ方ハ製糸家ニ於テ利益アルカ為メ昼夜兼業

【一回ノ二 9 a】

ニテ製出ヲ計リ從テ横浜ヘノ出荷モ意外ニ多ク一ヶ年間ニ十三万俵ニ上リ此内十二月迄二十万六千俵丈輸出セラレタリ斯ノ如ク出荷迅速ナリシヲメ自然粗製濫造ノ傾アリ而カモ値段ハ高カリシニ依リ他日尻力来ラサルヤト心配セラレ、程ナリ今期会社ノ取扱ヒタル高ハ三千七百俵ナリ蓋シ生糸ハ六月ニテ切り六月迄ハ旧糸六月ヨリ新糸ヲ取扱フコト、ナル順序ニテ今期ハ未タ其半ナルモ既二十一月末迄ニ三千七百俵ノ取扱ヲ為シタルナリ此外二十月中ニ四百俵一月ニ入り既ニ二百俵ノ取扱ヲ為シタルニ依リ合計四千三百俵トナリ今期ノ終リ迄ニ八五千俵ニ上ルナラン要スルニ本商売ニ付テハ買方可ナリシヤ將タ売方可ナリシヤハ別論トシ紐育并横浜支店間ノ氣脈疎通シ機熟シタルカ為メ此大高ノ商売ヲ為シ得タルモノニシテ紐育支店ニ於ケル生糸商売

【一回ノ二 9 b】

カ非常ノ進歩ヲ為シタルコトハ今更喋々ノ弁ヲ俟タサル所ナリ又本商売ニ付最モ心配ノ点ハ紐育ニ於ケル機屋ノ基礎鞏固ナラサル点ニ在リ即チ毎年機屋ノ破産スルモノ五六人ヲ下ラス殊ニ本年ハ相場昂進一方ナリシヲ以テ機屋ノ破産

モ少ナカラサルヘシト思惟シタルモ左程沢山モ出テスニ軒丈ノ破産者ヲ出シタリ之カ為メ其機屋ト關係アル外国商館等ニテハ大恐慌ヲ来シタルモ日本商人間ニ幸ヒニ損失ヲ蒙リタルモノナカリシ生糸ノ買付方ニ兩様アリ現物并先約定是ナリ例年ハ大約皆現物ナレトモ今期ハ珍シクモ千二百俵ノ先約定成立セリ他ハ皆買付系ナリ而シテ先約定ノ分ハ値段騰貴シタルモノ受渡如何アルヘキカト懸念シタルモ製糸家ニ於テ名譽ヲ重ンシ素質ヲ良クシ期限ヲモ違ヘス何レモ約定通り履行セリ此方

【一回ノ二 10 a】

法ハ可成向後モ發達セシメント欲ス併シ今期ハ安値ニテ先約定シ後日値段騰貴シテ大ニ迷惑ヲ感シタルニ依リ向後ハ先約定ヲ為サ、ルヘキヤモ知ルヘカラス  
又生糸ハ金高巨額ニ上ルヲ以テ為替ノ取組方ニハ大ニ苦心シ聊カ研究ヲ尽シ金融ノ仕方ヲ変シタリ即チ從來ハ重モノ積出シタル荷物ヲ米貨ニ切替ヘ又ハ英貨ヲ以テ倫敦ニ荷為替ヲ取組ミタルモ今期ハ紐育ヘ宛テ英貨ニテ荷為替ヲ組ミ之ヲ倫敦払トセリ当初1%位利方ノ勘定ナリシモ南阿并非律賓事件等ノ為メ金融界ニ變調ヲ呈シ實際ハ½%位ノ利益ニ止マリタリ此節又々一工夫ヲ凝ラシ普通手形ニドッキュメントヲ添ヘルモ之ヲ添付セスシテ荷物ヲフリーニスルコ

トノ交渉中ナリ或ハ出来得ルナラント考フ

◎飯田 紐育トノ引合ハ如何ナル方法ニ依ルヤ

【一回ノ二 10 b】

◎北村 紐育ヘハ買ヘル相場ト唱相場ト、他人カ買ヒタル相場トヲ不絶報知スル而シテ紐育ニ於テハ之ニテ横浜ノ相場ヲ知悉シ機屋ヘ売りニ回ルナリ又別ニ五百俵ノ買持許可ヲ受ケ居リ之モ売りニ回ル即チ現物ハ何程積出中ノモノハ何程先約定物ハ何程ト値段ヲ極メテ売りニ回リ其売レ模様ニ依リテ買付ヲ為スモノニテ又買付ヲ先ニスルコトアリ即チ紐育ニ於テ売レ方活発ナルトキハ横浜ノ相場モ直チニ昂騰スヘキヲ斯ル場合ニハ売行宜シキ品物ヲ買付ケ置クコトアルナリ

◎飯田 買付ヲ為スニハ f.o.b.ニテ約定スルカ

◎北村 横浜支店ヘ引込ミタル値段ナリ

◎飯田 紐育ノ着値ハ夫レニテ分リ得ルカ

◎北村 パッキング シッピング マリンインシュランス等ハ

【一回ノ二 11 a】

何レモ定マリ居ル故生糸ヲ千円ニテ買ヒ為替相場五十一弗トスレハ紐育着値一封度何程ニ当ルヤ直チニ表ニ依テ之ヲ知り得ヘシ

◎益田 斤量ニ関スル苦情ハ如何ナル点ニ存スルヤ

◎北村 大体ヲ述ヘンニ是迄秤量器ハ五百斤掛ノモノヲ使用セルモノアリ又二百五十斤掛ノモノヲ使用セルモノアリ五百斤掛ノ方ハ目盛半封度ツ、ト相成リ居リ又二百五十斤掛ノモノハ四分ノ一ツ、ニ切りアリ從テ前者ニテ秤量スレハ一ト目ニテ半封度ツ、異ナリ又後者ナレハ四分ノ一封度ツ、ノ違ヒヲ生ス此他旧来ノ天秤棒アリ此分ハ目方ノ殺シ利ク然ルニ本年一月ヨリ度量衡法改正セラレ英斤ハ使用スヘカラス必ス和斤ヲ使用スヘキコト、ナリタルヲ以テ日本商人ハ二百五十斤掛ニ一定スヘキコトヲ商館ニ通知セリ而シテ商館ハ

【一回ノ二 11 b】

右ハ度量衡法ノ改正ニ伴フ自然ノ結果ナレハ二百五十斤掛ノ和斤ヲ用ユルコトハ承諾シタルモ目盛ノ点ニ付争ヲ生シタリ即チ商館ハ四分ノ一封度トナスヘシト云ヒ之ニ反シテ日本商人ハ生糸ハ高価ノモノナレハ目ヲ荒ク切ルコトハ都合ナリ宜シク之ヲ八分ノ一封度トナスヘシト然ルニ商館ハ又曰ク八分ノ一封度トスルトキハ秤力容易ニ落付カス多数ヲ秤量スルニ非常ノ手数ヲ要ス故ニ四分ノ一封度ト為スヘシト日本商人ハ又之ニ対シテ抗議シテ曰ク生糸ノ一ト掛ハ五十斤ナリ然ルニ二十五斤ニ付四分ノ一封度ノ差アルト

キハ十万梱ニ付一万二千斤ノ相違ヲ来スコト、ナルヲ以テ  
斯ル無法ノ要求ニハ応スル能ハスト互ニ論議ヲ費シタルモ  
結局譲歩シテ四分ノ一封度ノ目盛ヲ採用スルコト、ナリタ  
リ

茲ニ又一ノ注意スヘキ点ハ從來英斤ヲ和斤ニ換算スルニハ  
七五

【一回ノ二 12 a】

ヲ乗シタルモ這ハ便宜ニ出テタル概算法ナリ然ルニ此度度  
量衡法ニ於テ英ノ百三十二封度七分五厘ヲ以テ和ノ百斤ト  
定メラレタルモ所謂一担ト称スルハ英ノ百三十三封度三分  
ノ一ナレハ和百斤ニテ買付ケ一担ニテ売却スルトキハ目方  
ニ於テ損失ヲ蒙ルヘク之ニ反シテ一担ニテ買付ケ和百斤ニ  
テ売却スルトキハ目方ニ於テ利益ヲ得ヘシ

◎益田 此点ハ銅等ノ商売ニ付テモ注意スヘキ所ナリ

次ニハ余リ他ノ店ニハ関係ナキモ平田氏ヨリ漁業部ノ現状  
ヲ述ヘラレタシ

◎平田 昨今漁業部ニ軫シタル事故未タ充分ノ取調ナキモ簡  
単ニ大要ノミヲ述ヘン先ツ鯨ヨリ始メンニ鯨ハ増毛并留萌  
ニ於テ収獲スルモノニテ毎年損失ヲ醸スコトナシ昨年度ニ  
在テモ

【一回ノ二 12 b】

増毛ニテ三千六百石留萌ニテ四千石ヲ収獲シ相当ノ利益ヲ  
得タリ元來昨年度ニ於ケル北海道ノ鯨漁ハ非常ノ不漁ナリ  
シト噂サレ合ヘルモ其総額ヲ計上スルニ約七十万石ニ達シ  
決シテ甚タシキ不漁ト云フヲ得ス唯夫レ近來網數増加シ明  
治二十年頃ニハ北海道全道ノ鯨建網數三千八百七十統ナリ  
シニ二十九年ニ至リテハ六千八百三十一統ニ増加シ從テ一  
統當ノ収獲高ハ減少シタルモ全体ノ収獲ニハ著シキ減少ヲ  
見サルナリ殊ニ昨年ハ非常ニ値段高貴ナリシヲ以テ仮ニ平  
年ヲ九十一万石トスルモ値段ノ上ヨリスレハ昨年度ノ七十  
万石ハ能ク八十万石ニ匹敵シ從テ益々平年ニ比シ大差ナシ  
ト考フ

鯨ハニヶ所ニテ収獲ス樽前并三石是ナリ樽前目下他人ニ貸  
渡シ三石ハ当社ニテ營業ス昨年同地ノ収獲ハ未曾有ノ薄

【一回ノ二 13 a】

漁ニシテ僅ニ三百石ニ過キス今年ハ希クハ好結果ヲ収メ得  
ヘキカ

鮭ト鱒トハ扱捉ニ於テ収獲ス昨年ハ是亦非常ノ薄漁ニシテ  
全道ノ収獲鮭一万二千石鱒五千五百石ニ過キス此内当社ノ  
収獲高ハ扱捉ニ於テ鮭千五百五十石鱒六百七十八石又留萌  
ニ於テ鮭四百六十八石増毛ニ於テ同四百九十五石共計鮭二

千五百十三鱒六百七十八石ナリ蓋シ此不漁ハ三ヶ年間モ継続シタルモノナレハ漁業部タルモノ大ニ善後策ヲ講セサルヘカラス是ヲ以テ本年度ニ於テハ成ルヘク貸場所トスルノ方針ヲ採リ単ニ上等ノ場所ニテ鱒網四ヶ所鮭網三ヶ所ノミヲ投網スル事トセリ尚ホ參考迄ニ昨年度ニ於ケル北海道并ニ其以外ノ鮭并鱒取獲高ヲ示スヘシ

鮭取獲高

樺太

六千三百石

【一回ノ一 13 b】

ニコライスク

六万五千石

合計 八万三千三百石

北海道

一万二千石

鱒取獲高

樺太

三万九千石

四万四千五百石

北海道

五千五百石

漁業今後ノ計画ニ付テハ鱒ハ是迄ノ経歴ニ徴シ損失ヲ醸スノ恐ナキヲ以テ依然之ヲ継続シ又鮭鱒ノ二品ハ漁事ノ常トシテ必スシモ予算通りニ実行スル能ハス為メニ失敗ヲ重ネタルモ本年度ニ於テハ仮令不漁ニ遭遇スルモ損失ヲ醸サ、ル迄ノ設備ヲ以テ之カ経営ニアタルトキハ甚タシキ不結果ヲ来タスカ如キコトナカルヘシト考フ

【一回ノ一 14 a】

◎飯田 年々漁事減スルヤ

◎平田 鱒ハ甚タシキ減少ヲ見サルモ鮭鱒ノ取獲ハ漸次減少ノ傾アリ

◎益田 樺太ニ於テ盛ニ漁獲スル為メ北海道沿岸ノ漁事衰ヘタルニ非スヤト思惟シ居リタルモ其実樺太ニ於テ漁獲セラル、魚族ト北海道沿岸ニ於テ漁獲セラル、魚族トハ其種類ヲ異ニセリト云フ果シテ然ラハ樺太ニ於ケル漁事ノ発達ハ必スシモ直接ニ北海道ノ漁業ニ影響ヲ及ホサ、ルモノト看做シテ可ナリ

◎平田 潮流ノ工合ニ依テ漁獲ニ豊凶ノ差アリ昨年ハ夏季潮流温暖ニシテ冬季寒冷ナリシカ為メ薄漁ナリシモ之ニ反シテ夏季潮流寒冷ニシテ冬季温暖ナレハ豊漁疑ナク而シテ

【一回ノ一 14 b】

冬季中降雪十分ナレハ即チ後者ノ結果ヲ来タスト云フ本年ハ氣候□寒降雪又頻々ナルヲ以テ漁事ノ見込アルヘキコトヲ予想シ貸場所ノ如キハ競ツテ之ヲ借入ル、有様ナリ

◎飯田 人口増殖シ山ノ樹ヲ伐倒ス為メ漁獲減スト称スル者アリ果シテ事実ナルヤ

◎平田 左様ノ理由ニハ職由セサルモノ、如シ

◎北村 魚族カ一般ニ狡猾トナリ陸ノ付近ニ集マラサルニハ

非ラサルカ

◎平田 サル理由モ之ナキモノ、如シ

◎益田 漁獲ノ少ナキハ多ク時化ニ原因ス

◎北村 果シテ然ラハ漁法ヲ改良スルコト必要ニ非サルカ即チ時化ニ遭遇スルモ一度捕獲シタル魚ハ取逃サス若クハ又時化ノ際ニテモ漁獲ノ実行シ得ルカ如キ工夫付カサルカ

【一回ノ二 15 a】

◎平田 此辺ノ時化トハ大ニ趣ヲ異ニシ一度時化トナルトキハ漁獲ノ如キ固ヨリ望ミナキノミナラス一度捕獲シタル魚族モ之ヲ投棄セサルヘカラサルコトアリ

◎北村 当社ニ於テ樺太迄モ進ンテ漁業ヲ経営スルノ企ナキカ

◎飯田 スル拡張ハ物産会社トシテ固ヨリ実行スヘキモノニアラス

◎益田 是ヨリ松尾氏ヨリ遼東半島ノ話ヲ承ルコト、スヘシ

◎松尾 遼東半島ノ取調ニハ大ニ苦心シタルカ今其要梗ノミヲ摘述センニ旅順口ニハ露人其他ノ西洋人并支那人ヲ合シ人口約二万人アリ一ノ軍港ニシテ税関ノ設ナク又輸出品ナシ輸入品ハ鉄道軌條枕木セメント、鉄道用品、貨車材料、造船用材料海軍用石炭(カーチズ唐津田川等)等ナリ而シテ鉄道ニ使用スル石炭ハ未タ微々タルモノナルモ兵營等ニ

使用スルモノアリ昨年夏

【一回ノ二 15 b】

ヨリ冬ニ至ル迄ニ北方炭三千五百屯ヲ輸入シ又余ノ同地在留中我社ヨリ輸入シタル唐津石炭千九百屯余ノ受渡ヲナシタリ此他諸雜貨ノ輸入アレトモ別ニ統計ノ微スヘキモノナキカ為メ茲ニ其計數ヲ示ス能ハス枕木ノ如キモ亦其輸入額ヲ知ルノ道ナク汽船会社ニ就キ之ヲ取調フルモ更ニ要領ヲ得ル能ハサリシ

偕向後旅順口方面ニ対シ有望ナル商売ハ何ソヤト云フニ同港ハ元來軍港ト称スルモ遠浅ニシテ船ヲ入ル、ニ足ル区域甚タ狭ク從來ハ軍艦二三艘并水雷艇四五艘ヲ入ル、二過キサリシモ露国力之ヲ借受ケテ以來費額九百万円ヲ投シテ大ニ其拡張ヲ計リ海底ヲ浚渫シテ幅三百尺深三十尺二掘リ七個ノヴィーチ付スル計画ノ由ナレハ鉄類、セメント、石炭等ノ需用ハ十分之アルヘク且ツ海上ニ於テ右等ノ施設ヲ為スト共ニ之ニ伴フ陸上ノ建築ヲモ為ス

【一回ノ二 16 a】

ナルヘク人口モ漸次増加シ雜貨ノ売行モ盛ナルヘシト考フ而シテ又余ノ同地ヲ出発スル頃迄ハ法律ト称スヘキモノナク警察官力自己ノ考ヲ以テ裁断スルニ止マレリ又總督ナル

モノナク知事アリテ諸般ノ事務ヲ取扱ヒ而シテ知事ハハバ  
ロフカノ総督ノ指揮ヲ受ケタルモノナリ然ルニ過般元ノ東  
洋艦隊司令長官タリシ「アレキセーフ」氏カ総督ニ任セラ  
レ旧支那正月ヨリ大ニ改革ニ從事スルナラン其上ハ軍人兵  
士等モ集マルヘク從テ之ニ要スル糧食ノ需要モ尠少ナラサ  
ルヘシ而シテ糧食品中最モ需要多キハ麦ナルヘク是ハ重ニ  
支那麦ヲ使用シ日本品ノ輸入ハ少ナカルヘシ嘗テ日本ノ大  
麦ヲ馬ニ与ヘタルニ下痢ヲ起シタリト云フ向後馬ノ糧食ニ  
燕麦ヲ使用スル方針ノ由ニテ本品ハ北海道并西比利亞二産  
出ス余ノ旅順ニ在ル際三十万ブードヲ買ヒ度旨申出アリタ  
ルヲ以テ此度渡邊秀

【一回ノ二 16 b】

次郎氏カ北海道ニ赴カル、好便ニ托シ本品ノ取調ヲ托シタ  
リ余カ旅順口地方ニ対シ向後大ニ經營シ度商売ハ築港工事  
用材料、鐵道用材料、兵營建築用材料等はナリ余ハ最初石  
炭ヲ引合ヒタル「カンダコーフ」ニ就キ宿屋ノ周旋モ請ヒ  
新聞記者建築部長其他ノ人々ニ紹介ヲ依頼シタルモ同人ハ  
自家ノ商売ヲ取ラレンコトヲ恐レ紹介ヲ嫌惡セリ幸ニシテ  
「チーフンタイ」ト称スル支那人アリ當時ハ露西亞ニ歸化  
セルモ之芝罘人ニシテ久シク西比利亞地方ニ流浪シ旅順口  
借入ノコトニ付テハ露國ノ為メ大ニ力ヲ致シ露國皇帝ヨリ

勲章迄得タルモノニシテ當時多數ノ支那人ヲ使用シ鐵道工  
事并建築工事ヲモ受負ヒ又麥粉製造所ヲ有シ雜貨ノ商売ヲ  
モ爲シ居リ一ヶ月百五十円余ノ月給ヲ支払フ露國人七名支  
那人五十余名ヲ工事

【一回ノ二 17 a】

ニ使用シ雜貨商売ノ方ニモ支那人三十余名ヲ使用シ其他建  
築工事ニ使用スル労働者ノ數ハ四千人以上ニ上レリ余ハ此  
人ト懇親ヲ帶ヒ西貢米朝鮮米日本米ヲ引合ヒタルモ運賃ノ  
点ヨリ商売成立セス其他有ラユル商品ニ付テ引合ヲ為シタ  
ルモ何分人口未タ少ナク需用亦多カラス加フルニ運輸ノ不  
便ヲ以テシテ商売ノ成立ヲ見ルコト能ハサリシ然レトモ前  
ニ述フルカ如ク露國ハ九百万円ヲ投シテ諸般ノ施設ヲ為ス  
カ故ニ其進歩ヲ見ルノ期モ速カナルヘク大連灣并牛莊奉天  
ニ達スルノ鐵道延長ノ上ハ吉林省ノ豆粕ハ大連灣ニ出ツル  
コト、ナルヘク自然商人ノ大連灣ニ集マル者モ多數トナリ  
同地ノ商売ハ非常ナル發達ヲ見ルヘキコト疑ナシ  
大連灣ノ対岸ニビクトリヤベイアリ其間日本里程四里位ナ  
リ目下

【一回ノ二 17 b】

盛ニ築港ヲ為シツ、アリ又造船所ヲ造リ大小ノ船渠四個ヲ

造り防波堤ヲ設クル等経営オサノ、怠リナシ即チ自由港トシテ開港セラル、モノニシテ当時右等ノ設備最中ナリ市街地トナルヘキ場所ハ最初坪十二錢位ナシリモノ既ニ二円位ノ相場トナリタリ尤モ未タ売リ初メス「アレキセーフ」氏着任ノ上ニ売初ムルナラン右ノ設計ハ三ヶ年間に継続事業ニシテ費額予算一千五百万円ナリ乍去爾來物価大ニ騰貴シタルヲ以テ余ノ考ヲ以テスレハ約二千万円余ヲ要スヘク又日子モ四ヶ年以上ヲ要スルナラン此築港ヲ為スニ付最モ必要ナル材料ハセメント、石、鉄、并材木等ナリセメントハ重ニ欧州製品ヲ用ヒ居レリ蓋シ日本ノセメントハ工場毎ニ其品質異ナリ殊ニ横浜築港ニ於ケルセメントノ不評判ハ大ニ影響ヲ及ホシタルモノナルヘシ現ニヴイクトリヤベイニ於テモ九州セメント

## 【一回ノ二 18 a】

佐賀セメント日本セメント并小野田セメント等ヲ取寄セ色々試験シタルモ其結果宜シカラス使用後直チニ乾キ且亀裂ヲ生シタリト云フ其理由ヲ製造家ニ糺シタルニ答テ曰ク這ハ決シテ無理ナラヌ事ナリ何トナレハ我セメントハ値段段安ク高ケレハ買人ナシ故ニ已ムヲ得ヌ其品質ヲ落スカ故ナリト成程欧州ノセメントハ旅順ニ於テ九円若クハ十円ナルニ我セメントハ長崎船乗三円二十五錢運賃一円計四円二十

五錢ナリ然ルニ露国力カヲ使用セサルハ品質悪シキカ為メナリ露国假令日本ニ悪感情ヲ抱クト仮定スルモ見スノ、値段非常ニ低廉ナルニ不拘日本セメントヲ棄テ、欧州セメントヲ使用スルノ謂ハレナシ其之アルハ職トシテ品質不良ナルニ由ラスンハアラス今日本製造家ノ云フ所ヲ聞クニ若シ我セメントノ品質ヲシテ欧州製ノ如ク良好

## 【一回ノ二 18 b】

ナラシメンニハ從來ノ値段ヨリ三割方ヲ高メサルヘカラス元來セメントハ粘土ト石トヲ以テ製造スルモノニシテ我セメントノ原料タル石ハ極メテ良好ナレトモ粘土ハ不良ナリ從テ良好ナルセメントヲ製造セントセハ粘土ヲ洗ハサルベカラス之ヲ洗フノ器械ハ備付ケアレトモ從來使用ヲ為シタルコトナク粘土ノ儘ヲ直チニ原料ニ用ヒタル為メ品質不良ノセメントヲ生出スルノ結果トナルナリト此事ハ我海軍省ヨリモ注意セラル、所アリ假令値段高キモ良品ヲ製造スヘシトノコトヲ日本セメント会社ニ命セラレタルニ依リ同社ニ於テハ製造ニ改良ヲ加ヘ特別ニ海軍省用ノモノヲ製造シタル旨聞キ及ヒタルヲ以テ其内ヨリ五十樽ヲ得テ旅順口大連灣ヘ送付シ買方ヲ勧誘セリ

斯ノ如キ日本ノセメントハ品質不良ニシテ使用ニ適セス歐

州ノ

【一回ノ二 19 a】

セメントハ値段非常ニ高価ナル為メ十萬樽乃至十五萬樽ヲ製造シ得ヘキ工場ヲ大連灣ニ造リタルカ其原料タル石ニ乏シキカ為メ余ノ出張中石ノ供給方ニ付テ相談アリタリ依テ八代ノ石ノ一屯大連灣ニ送り試験中ナリ又同地ニハセメントヲ入ルヘキ樽ナシ其供給方モ相談アリタルヲ以テ名古屋支店ニ依頼シ見本ヲ調製シテ送リタリ又材木ハ鴨綠江又ハ大同江ヨリ運送シ來ルモ船少ナキ為メ運賃割高ニテ且手数料ヲ要スルコトモ多シト云フサミユールハ米國木材一尺角ノモノヲ六十錢ニテオッフアーセリト云フ鴨綠江ヨリ輸入スルモノハ四十五錢位ニ挙ルモ品物揃ハストノ事ニテ建築部長ヨリ我社ニ木材ノ買付方ヲ相談セラレタルモ余ハ當時全權ヲ有セス且本邦ヘ電信シタルモ船便ナシトノコトニテ要領ヲ得サリシ余ハ北海道ノ木材ヲ伐り出

【一回ノ二 19 b】

シテ供給シテハ如何ト考フ島内良雄ト称スル日本商人ハ旅順并大連灣地方ニ於テ大ニ仕事ヲ為シツ、アリ曩ニ枕木三十萬挺ヲ請負ヒ四ヶ月程延着シタルモ無事ニ納入ヲ為シタリ余モ枕木ノ注文ヲ得テ土産ニセント考ヘ頻リニ奔走シタ

ルモ一挺一円ニテ少シク割高ニ當リ遂ニ島内ノ為メ二十九萬八錢ニテ十五萬挺約束セラレタリ露清銀行ノ支那人モチーフンタイノ周旋ニテ十萬本ノ注文ヲ得タリト云フ

石炭ハ造船所煉瓦セメントノ製造所及鐵道等ニ売込ムモノニシテ向後鐵道全通ノ暁ニハ大ニ其需要ヲ増加スヘク余ノ考ニ依レハ大連灣ノミニテモ十五六萬屯ハ使用スヘシト思惟ス旅順口ノ需要ハ之ヨリ少額ナルヘシ是迄キンスバルクカ海軍ノ御用達ヲ為シ居リ石炭ヲ長崎ニテ仕入レ之ヲ供給セリ余ノ大連灣ニ滞

【一回ノ二 20 a】

在中露國ノ技師長ト懇親ヲ結ヒ度々往復シタルカ富士山丸荷役ノ際技師長ヨリアレハ誰ノ船ナルカノ問アリタル故三井ノ船ナリト答ヘタルニ然ラハ三井ハ何艘程船ヲ有スルカトノ尋ネアリ依テ三井ハ二千屯ヨリ七千屯迄ノ船ヲ二十艘所有セリ從テ輸入品ハ何品ニ拘ハラス三井ト取引セハ割安ナルノミナラス運搬方モ極メテ便利ナリ且年々牛莊ノ豆并豆粕積取りノ為メ船舶ヲ回ハシ自家所有船ノミニテハ不足ナル為メ雇船ヲモ為スコトアリ而シテ芝罘ヘハ棉糸六百萬円余又牛莊ヘモ棉糸四百萬円ヲ送り而シテ牛莊ヨリハ豆粕ヲ約二百萬円計リモ買取り來ル故ニ豆粕ノ季節ニ石炭ノ御注文アルトキハ往航ニ鳥渡持チ來ルコトヲ得ヘシト答ヘタ

り然ラハ三井ハ如何ナル家ナルヤトノ尋アリ之ニ対シ其節幸ヒ三池鉱山ノ写真六枚程持參シ居リタルヲ以テ之ヲ示シ詳細説明ヲ与ヘタリ其結果遂ニ

【一回ノ二 20 b】

石材ハ如何材木ハ如何セメント原料ハ如何樽ハ如何等種々ノ質問アリシモ即答スルコトハ出来サリシ故取調ノ上返事スル旨答ヘタリ此外鍛冶屋炭ノ需要アル趣ナリシヲ以テ鍛冶屋炭ニハ三池粉炭ニ勝ルモノナキコトヲ説明シ三池粉炭五十屯トコークス五十屯トヲ売渡シタリ多分試験ノ上商売成立スルナラン開平炭ハ大連灣ニ於テ一屯八円ナリ而シテ半屯ヲ以テ煉瓦千枚ヲ焼クコトヲ得ヘク千枚ノ値段ハ十三円ナリ此内炭代四円造り賃四円税金其他二円ヲ引去ルトキハ三円ノ利益ヲ得ヘキ勘定トナル但賄賂其他種々ノ入費ヲ要スルヲ以テ實際ノ手取りハ一円位ナルヘシ余ハ又梓島等ノ粉炭売込方ヲ努メタルモ運賃高値ナル為メ開平炭ト競争シ得ス從テ商売成立セサリシ

次ニ余ノ承知致度ハ向後遼東半島ニ對スル商売ハ大口ノミヲ取扱フカ又小口ニテモ取扱フカノ点是ナリ今チーフンタイ其他露人等ノ商売振りヲ見ルニ何品ニテモ所有シ居リ何

【一回ノ二 21 a】

時ニテモ需要ニ応スルノ準備ヲ為セリ単ニ見本ノミヲ並列シ之ニ依テ卸売ヲ為スモノナシ斯ル有様ナル故最初ハ何品ニテモ取扱フコト必要ナリト考フ

鐵道全通ノ曉ニハ豆并豆粕ハ大連灣ヨリ輸出セラル、コトトナルヘク從テ棉糸并棉布モ大連灣ニ輸入セラルヘシ元來支那人ハ機ヲ織ルコト下手ナルヲ以テ棉布ノ需要ハ極メテ多ク而シテ是等ニ関スル牛莊商売ハ多クハ大連灣ニ奪ハル、コト、ナルヘシ即チ露西亜カ鐵道運賃ヲ非常ニ高クセハ格別然ラサレハ牛莊商売ハ不凍港ナル大連灣ニ占領セラ、所トナルヘシ大連灣ヨリ牛莊并奉天府ニ至ル鐵道ハ既ニ開通シタルカ向後吉林并ハバロフカ等ヘノ鐵道開通スル曉ニハ大連灣ハ商業上ノ一要地トナルヘキコト毫

【一回ノ二 21 b】

モ疑ヲ容レズ

余ハ先年長谷川氏ト同道ニテ浦塩斯德ヘ赴キタルコトアリシカ當時同港ハ極メテ微々タル港ニ過キサリシカ今日ハ既ニ非常ノ發達ヲ為シタリ然ルニ日本人ノ同港ニ入込ミテ商売セル者ハ甚タ少ナク杉浦永田等ノ如キ小商人ニ過キス向後我社ニ於テハ大ニ力ヲ遼東半島并露西亜トノ貿易ニ致サレンコトヲ希望ス

◎益田 次ニ小田柿氏ヨリ桑港ノ景況ヲ述ヘラレタシ

◎小田柿

太平洋沿岸ニ於テ桑港ヨリ商売ヲ為シ得ヘキ区域ハ出張中一通リ巡回セリ即チカリホルニヤ、オレゴン、ワシントンノ三州并英領加奈太ニシテ其内ノ重ナル場所ハ桑港ヲ初メタコマ、ポートランド、ト、シヤトル、バンクーバー并ウイクトリヤノ五ヶ所ニシテ此等ノ場所ハ桑港ニ居乍ラ商売ヲ為スコトヲ得ヘシ何トナレハ此等各地ノ商人ハ何レモ

【二回ノ二 22 a】

本店支店若クハ代理店ヲ桑港ニ有スレハナリ即チ其状態ハ恰モ大西洋沿岸ノ紐育ニ於ケルカ如シ而シテ右五ヶ所ハ各商売ノ種類ヲ異ニセルモ最モ盛ナルハ桑港ニシテポートランド之ニ次ク然レトモ昨今新聞紙ノ報スル所ニ依レハ太平洋沿岸ニ於ケル米國政府ノ積出品ハ何レモシヤトルニ依ルノ企アル趣ナレハ他日シヤトル最モ盛ナル港トナルヘシ我國ヨリ支那朝鮮并海峽植民地ニ対スル貿易ハ輸入ヨリモ輸出ヲ多シトスルモ太平洋沿岸ニ対スル貿易ハ今日ノ処輸入多クシテ輸出少ナシ而シテ余ノ桑港ニ出張スルヤ一ツノ商品ニ付如何ニシテ其商売ニ着手シ得ヘキヤ取引方法ハ如何買入方并ニ其製造法ハ如何等ノ点ヲ取調ヘタルヲ以テ調査ノ行届キタル品数ハ甚タ少ナシ而シテ既ニ着手シタル商品ノ内ニテ向後モ引続キ商

【二回ノ二 22 b】

売ノ成立チ得ヘキ見込アルモノハ麦粉ノ商売ナリ此商売ハ至テ容易ニシテ素人ニ適スルノミナラス他ノ贅沢品又ハ一時ノ入用品ト異ナリ日用ノ品物ナレハ今後益々其使用増加スヘク此処三四年ヲ経過セハ一ヶ月千屯ヤ千五百屯ノ商売ハ容易ニ成立スルニ至ルヘシト考フ

次ニ有望ナルハ材木ノ商売ナリ蓋シオレゴン州ノ如キニ在リテハ材木ハ殆ント無尽蔵ニシテ捨テ物同様ナリ故ニ此点ニ注目シ居ルトキハ一廉ノ商売トナルヘシト考フ

次ニ望ミアルハ皮ノ商売ナリ蓋シ今日ニ在リテハ未タ其需要盛ナラサルモ向後大ニ其需要ヲ増加スヘキ見込アリ殊ニ過般梭組ノ町田氏桑港ヘ見エタル節共ニ皮ノ工場ヲ巡回シ日本向ノ品物ハ如何ナルモノナリヤトノコトモ大抵分リタレハ今後商売ヲ為スコトヲ得ル考ナリ

【二回ノ二 23 a】

其次ハ小麦ノ商売ナリ之モ先達来引合ノ末東京大阪ノ双方ニテ三千屯ノ取引出来シ太平洋沿岸ヨリ積出ノ事ニナリ居レリ尤モ此商売ハ日本ノ小麦ノ作柄ニ依リ或ハ成立スルコトアリ或ハ成立セサルコトアリ固ヨリ毎年一定ノ商売トハナラサルヘキモ航程僅ニ十数日ヲ隔ツルニ過キサル対岸ニ

無尺減トモ云フヘキ低廉ナル小麦ノ産地アルコトナレハ遣  
り方如何ニ依リテハ繼續商売ト為ルヘシ

次ニ印刷用紙ハ不幸ニシテ余ノ在桑中ハ日本ノ商況悪シク  
且輸入税モ増加セラレ前年来ノ持越荷モアリタル為メ取引  
出来セサリシモ昨今又追々米独ノ印刷紙ヲ取寄スル傾キア  
リ既ニ手合セノ出来セルモノモアリトノコトニテ且輸入税  
減額問題モ大ニ気焔ヲ高メツ、アル際ナレハ万一其減額ヲ  
見ルニ至レハ一廉ノ商売トナルヘキ見込アリ向後ハ大ニ力  
ヲ本品ニ尽ス考案ナレハ各店ニテモ充分御尽

【一回ノ二 23 b】

力ヲ願ヒタシ

其外墨哥古并英領加奈太ノ羊毛アリ之ハ是迄未タ手ヲ付ケ  
サリシヲ以テ詳細ノ事ハ分ラサルモ統計表ニ依テ之ヲ見ル  
ニ大分日本ニ輸入セラレ居ルコトヲ知ルヘシ故ニ帰桑後ハ  
取調ノ上商売ニ致度考ナリ

右ノ外尚種々ノ品物アレトモ概シテ太平洋沿岸ヨリ輸出ス  
ルモノハ製造品ヨリモ寧ロ農産物并半製造品ヲ宰トスルカ  
故ニ其品数少ナシ然レトモ今日太平洋沿岸ノ有様ヲ見ルニ  
諸般ノ製造事業モ駸々乎トシテ進ミツ、アレハ爰許両三年  
間ヲ經過スレハ夫等ノ設備完全シ器機類其他商売モ大ニ見  
込アルコト、ナルヘシ

以上ハ太平洋沿岸ヨリ日本へ輸出スル商品ニ付テ述ヘタル  
モノナルカ此外ニ桑港ニ於テ力ヲ尽スヘキ仕事ハ棉花船積  
ノ件ナリ而シテ

【一回ノ二 24 a】

余ノ桑港へ出張シタルトキハ丁度棉花ノ非常ニ堆積セル時  
ナリシヲ以テ鉄道会社并船会社等ニ懸合ヒ大ニ探究尽力ス  
ル所アリタリ其詳細ハ隨時書帖ヲ以テ申述ヘ置キタレハ既  
ニ御熟知ノ事ナラン今後ハ昨年ノ経験ニ依リ棉花ハ如何ニ  
停滞スルカ又積送リ工合ハ如何等ノコトヲ知了シタル故大  
ニ船積方好都合ニ運ハシムヘキ考ナリ

次ニ数量ハ僅少ナレトモ日本其他東洋ヨリ桑港ニ輸入スル  
モノニ付一言センニ今迄商売ノ成立シタルハ硫黄ナリ本品  
ニ付テハ昨年来ノ経験ニ依リ又之ヲ使用スルニ三家ト協議  
シタル結果ニ依レハ桑港ノミニテモ三千屯乃至一万屯ヲ売  
捌キ得ヘク此他タコマ ビクトリヤ、サンチアゴ其他ノ地  
方ニ対シ三千屯内外ハ売込ミ得ヘキ見込アルヲ以テ若シ仕  
入ノ方出来得ルナレハ相当ノ値段ニテ

【一回ノ二 24 b】

一万屯乃至一万五千屯位迄ハ売却シ得ヘシト考フ折角只今  
掛リノ人ト相談中ニテ三月頃ヨリ需要ノ季節始マルニ付帰

桑次第昨年ヨリハ進歩シタル方法ニテ本品ノ取引ヲ為スヘキ考ナリ

次ニ輸入米ハ重ニ大西洋沿岸ニ赴キ太平洋沿岸ヘ来ルモノハ少ナキモホテルヘ泊リ食物ノ表ヲ見レハ必スポイルドライスノ一項アルヲ見ル位ナレハ向後其需要ハ追々増加シ一ヶ月百屯ヤ百五十屯ノ商売ハ桑港ニ於テモ出来ルナラン其他シヤトル、ポートルランド、タコマ、バンクーバー等ニ対スル商売モ成立スヘケレハ一ヶ月二百屯乃至二百五十屯ノ取引ハ出来得ヘシト考フ

又大阪辺ニテ製造スル西洋品模造ノアンダーシヤート并齒磨楊枝ノ如キモノハ相当ノ売行アルヘシ蓋シ太平洋沿岸ニ於テハ余リ高キモノモ売レサレハ又余リ安キモノモ売レスト度大

【一回ノ二 25a】

阪并東京辺ノ製造品カシヤトル、タコマ地方等ニ売行クヘキ見込アリ尤モ桑港ハ大分贅沢ニナリ居ル故日本品ハ不向ナルヘシ

石炭ノ商売ハ之ヲ試ミタルモ未タ好結果ヲ占ムルコト能ハサリシ蓋シ太平洋沿岸ニ於テ石炭割合ニ低廉ナルト日本炭ヲ輸入スルニハ運賃割高ニシテ且一屯ニ付一円五六十銭ノ輸入税ヲ要スルトニ依リ手合出来セサリシモノニテ今後日

本ノ炭況不振ノ時ニ遭遇セハ或ハ取引ノ成立ヲ見ルナラン此他又桑港ニ於テハ布哇ヘノ引合ヲモ為シ得ヘキヲ以テ機ノ乘スヘキアレハ大ニ力ヲ尽スヘキ考ナリ

輸入品ハ大要前陳ノ通りナルカ桑港ニ於テ任事ヲ為ス上ニ最モ困難ヲ感スルハ船腹ノ欠乏并鉄道会社カ「モノポリ」ヲ有スル点ニ在リ我社ニハ幸ニ社船ヲ所有セラル、故仮令十分ノ算當ニハ

【一回ノ二 25b】

ナラストモ少シハ我慢シテ太平洋沿岸ヘモ船ヲ回スコトニ願ヒタシ棉積ノ季節ナレハ一方ニ於テ日本ヨリハ石炭ヲ積ミテ布哇并桑港ニ来リ戻リ荷ニ棉ヲ積ムコト、セハ可ナルヘク又良シ棉花ノ積出季節ナラサルモ麦粉ノ商売ハ二千屯乃至三千屯ノ高ナレハ何時ニテモ商内成立スヘキヲ以テ之ト鉛等ヲ積合ハセニスレハ船腹ハ充実スヘシ故ニ二三回社船ヲ太平洋沿岸ニ浮ヘテ結果如何ヲ試ミルコトニ致シタシ例ヘハ麦粉ノ如キモ昨年来運賃非常ニ騰貴シ一屯六弗十五仙位ニ上リタリ仮リニ日本金十二円トスルモ可ナリノ運賃ニ当ルヘク若シ又之ヲ五弗乃至四弗五十仙ニ引下クルトキハ麦粉商売上一屯ニ付二円乃至三元ノ開ヲ生シ取引ヲシテ大ニ容易ナラシムヘシ若シ夫レ從來ハ売り方ノ点最モ心配ナリシモノ今日ノ形勢ヨリ推セハ二千屯乃至三千屯ノ麦粉ハ

容易ニ販路ヲ

【一回ノ二 26 a】

見出シ得ヘキヲ以テ荷物ノ不足ヲ訴フルカ如キコトハ決シテ之ナシ尚他ニモ精々荷物ノ集メ方ニハ奔走スヘキ考ナレハ社船差回シノ事ハ実行ヲ願ヒタシ

材木麦粉鉛皮等ニ付テハ種々込入りタル事柄ヲ関係各店ト相談セサルヘカラス故ニ此事ハ別ニ御相談スルコト、スヘシ

金融ノ事ニ付テ尚一言センニ余ノ桑港ニ在ル間為替ハ大抵皆六十日目払ノ円為替ニテ取組ミタリ然ルニ右ハ至極都合宜シトノコトナル故向後モ六十日目若クハ九十日目払ノ円為替ヲ取組ムコト、スヘシ蓋シ円為替トスルトキハ相場ノ變動ナキヲ以テ其荷物カ為替取組後三十日後ニ着スト仮定スルモ買付ノ際ニ於ケル見積値段ト差違ヲ来スコトナシ尤モ此方法ハ不便ナリトアレハ何時ニテモ改正スルコトトスヘシ又今日迄ハ取引モ少ナク金高モ小額ナリシ故為替ハ

【一回ノ二 26 b】

総テ正金銀行ニ引合ヒ同行ニテ取組ミタリ大抵フェボレブルノレートヲ与ヘ呉レタリ即チ六十日目払ノ為替ニ対シ三十日目払又ハサイトドラフト同一ノレートヲ与ヘ呉レタ

ル故ニ常ニ四分ノ一又ハ二分ノ一方ハ割合宜シキ勘定ナリ蓋シホノル、ニ在ル正金銀行ハ送金方ニ苦ミ一度之ヲ紐育ヘ送り而シテ紐育ヨリ更ニ倫敦ヘ為替ヲ取組ムノ有様ナル故当社ハ即チ此資金ヲ利用スルコト、ナリ双方共ニ便利ヲ得ル次第ナリ唯茲ニ憂フル所ハホノル、ノ送金トテモ大高ノモノニアラス一ヶ月僅々五万弗カ七万弗多キモ十一万弗内外ナルヘケレハ桑港ノ商売カ一ヶ月二十万円内外ニ止マレハ兎毛角桑港ノ商売ニシテ大ニ拡張スル以上ハ今日同様ノレートヲ得ルコト能ハサルヘク其場合ニハ香上銀行又ハカリフォルニア銀行等ト引合ヲ為スノ要ヲ見ルコトアルヘシ

【一回ノ二 27 a】

ホノル、ノ商売ハ石炭ナルト其他ノ品物ナルトヲ問ハス總テ桑港ニ於テ経営スルコトヲ得ヘシ何トナレハホノル、ノ商売人ハ大抵皆桑港ニ店ヲ有スルカ又ハエヂエントヲ持チ居レハナリ

◎益田 コロラドノ製鉄所ノ代表者カ昨年日本ニ来リ浦塩斯

徳ヘモ赴キテ帰レリ若シカーネギーノスチールビジネスカ好都合ニ運ハストスレハ必スヤコロラド製鉄所ハ頭角ヲ現ハシ同製鉄カ太平洋ヲ渡リテ日本ニ輸入セラル、コトナラシコロラドノ社長ハ鉾山会社團氏ノ友人ナリ

◎飯田 今ノ内ニ引合ヲ付ケ置クコト、シテハ如何

◎小田柿 嘗テ其談アリタリ多分福井氏ニ於テ留守中取調ヘ引合ヲ付ケタルナラント考フ

◎益田 充分取調ヲ要ス尤モ運搬ハサウザルンパシフィックニ依頼スル

【二回ノ二 27 b】

ニハ非サルヘシ

◎小田柿 サウザルンパシフィックニ依ラサルモサンチアゴヨリ出スコトモ得ヘク又シヤトルヨリ積出スコトヲモ得ヘシ殊ニサンターフィーノ鐵路通スル暁ニハ尚更便利ナリ

(第一回了)